

松原市教育委員会 7月定例会 議事録

1. 日 時 令和5年7月26日（水） 午後1時00分

2. 場 所 まつばらテラス（輝）3階 多目的ホール

3. 付議事件等

- (1) 議 案
- 第16号 松原市立小中学校通学区域審議会委員の委嘱及び任命について
 - 第17号 令和6年度使用松原市立義務教育諸学校教科用図書（中学校）の採択について
 - 第18号 令和6年度使用松原市立義務教育諸学校教科用図書（小学校）の採択について

出席委員 美濃教育長 田中教育長職務代理者 和田教育委員 佐野教育委員
新田教育委員

事務局 岡本教育総務部長 山森学校教育部長
矢野学校教育部次長
田中教育総務課長 松山教育総務部参事 宮本学校給食課長
北田教育総務部参事 猪俣教職員課長 長尾教育推進課長

美濃教育長

時間となりましたが、定例教育委員会を開催する前に、あらかじめお願いを申し上げます。

傍聴人の皆様は、受付時にお渡しいたしました7月定例教育委員会傍聴者の皆さんへの遵守事項に従い、静ひつな環境の中で議事を進行していきたいと思っておりますので、ご協力いただきますようお願いいたします。

なお、カメラ、ビデオ、録音機等の持込み及び使用は禁止となっております。

また、携帯電話、スマートフォンについては電源をお切りいただくか、マナーモードにさせていただき、会議の進行にご協力いただきますようお願いいたします。

また、本日の定例会は、長時間にわたりますので、熱中症等にもお気をつけください。もし体調が悪くなられた場合は近くの職員にお声がけくださいますようお願いいたします。

(開会宣言 午後1時00分)

それでは、7月定例教育委員会を開催いたします。

本日は、比嘉委員がご欠席との連絡を受けております。

ただいまの出席委員は4名でございます。私を含めまして定足数に達しておりますので、本会議は成立しておりますことをご報告させていただきます。

なお、小玉教育総務部次長、彦阪教育政策課長、矢口地域教育課長、大西教育研修センター長が欠席との届出がございましたので、ご報告いたします。

次に、本日の会議録の署名委員を指名いたします。

委員会会議規則第17条第2項の規定により佐野委員にお願いしたいと思っております。よろしく申し上げます。

佐野委員

はい。

美濃教育長

それでは、初めに教育長報告を行います。

お手元の資料に基づき報告をさせていただきます。

6月22日、23日ですが、富山市にキャリア教育指導者養成研修の講師として行ってまいりました。横の連携を意識したキャリア教育ということで講義をさせていただいたところです。

6月26日には、令和5年松原市議会第2回定例会の本会議が終わりまして、28日には、いじめについて共に考える講演会に出席をしまして

ました。

また、6月30日、松原市アドバンスト・インターンシップの申込締切りがございまして、大阪大谷大学、桃山学院教育大学、阪南大学、四天王寺大学の4つの大学から4チーム合計21名の応募があり、受入れの決定をしたところでございます。

また、7月1日には、第73回社会を明るくする運動決起大会がここまつばらテラスで開催され、出席をいたしました。この運動は犯罪や非行をした人の立ち直りをさせ、再犯を防止すること、また、周りの人の理解を深めていくことで安心・安全なまちづくりを築いていくということを目的としている活動でございます。

7月4日には校長会、また、同日、第25回松原市セーフコミュニティ推進本部会議が行われまして、今年度のセーフコミュニティ再々認証に向けて、現在までの取組の成果の報告と検証が行われたところです。

7月7日には、松原市キャリア教育懇談会が開催されまして、松原二中、松原三中のほうから各学校の取組についての報告がございました。

また、7月13日には教頭会、7月15日には子ども議会が開催されました。各小中学校22校から代表1名ずつ、子ども議員として児童生徒に出席してもらい、いろんな質問が出されました。市で行っているいろんな取組の内容ですとか、子供たちからの提案なども行ってもらったところです。最後、講評としていろんな提案だけでなく、自分たちで考えて行動できることは何なのかということも考えてみてくださいねということも申し上げたところでございます。

最後になりますが、7月20日には、教育委員の皆様と一緒にこの教科書採択については勉強会を実施し、今日の会議に向けての準備を進めてまいったところでございます。

以上、ご報告とさせていただきます。

ただいまの報告につきまして何かご意見、ご質問等ございますでしょうか。よろしいですか。

各 委 員

なし。

美濃教育長

では、ないようですので、議事に入る前に、小中学校の現在の状況について事務局から報告をお願いします。

山森学校教育
部長

小中学校の近況ということでございますが、ご存じのように7月20日をもちまして本年度の1学期が終了しております。7月21日からは、子

供たちは38日間の夏季休業のほうに入ったところでございます。とはいえ、各校におきましては、中学校ではクラブの練習または公式試合というものがこの先続いてまいります。小学校におきましても、1学期の補充学習等が積極的に行われているところでございます。

教職員につきましても、校内であったり、校外研修等を含めまして研さんできる部分については研さんをしていく時期になろうかというふうに思っております。

一方、事務局のほうを少し申し上げますと、JETプログラム、海外青年招致事業のほうで、今、小中学校の英語に関わっていただいているALTのJET-ALTですね。こちらのほうが7月末をもちまして2人帰国をしまして、新たに8月に5名のJET-ALTが来日をしてくれるということでございますので、2学期以降は計9名のJET-ALTと共に小中学校の英語を推進していくと、こういったことになります。

そのほかですと、国際交流キャンプ、それから教育支援センターチャレンジルームの合宿等、こちらにつきましても昨日終了いたしました。

また、夏季休業の後半、8月21日には全教職員対象のサマーセミナーということで、文化会館のほうでまた研修を深めて、2学期に向けて頑張っていきたいと、このように思っております。

以上でございます。

美濃教育長

ありがとうございます。

ただいまの件について何かご意見、ご質問ございますか。よろしいですか。

各 委 員

なし。

美濃教育長

ないようですので、これより本日の議事に入ります。

本日の議事は、議案が3件となっております。

それでは、議案第16号「松原市立小中学校通学区域審議会委員の委嘱及び任命について」を議題といたします。

事務局より説明を求めます。

猪俣教職員課長

議案第16号「松原市立小中学校通学区域審議会委員の委嘱及び任命について」について、ご説明申し上げます。

議案説明資料の1ページをご覧ください。

松原市内の住宅開発の状況や市立小中学校に在籍する児童生徒数の推

移等を踏まえて、松原市立小中学校の通学区域について審議する委員についてでございますが、前任者の役員交代に伴い、新たに委員の委嘱を行うものです。まずは、青年会議所の理事長が交代されたということで新たに委嘱及び任命するものでございます。

説明は以上です。

美濃教育長

ありがとうございます。

ただいまの件について、何かご意見、ご質問はございますか。よろしいですか。

各 委 員

なし。

美濃教育長

ないように見受けられますので、議案第16号「松原市立小中学校通学区域審議会委員の委嘱及び任命について」を可決することにご異議ございませんか。

各 委 員

異議なし。

美濃教育長

異議なしと認めます。

よって、議案第16号「松原市立小中学校通学区域審議会委員の委嘱及び任命について」は可決されました。

続きまして、議案第17号「令和6年度使用松原市立義務教育諸学校教科用図書（中学校）の採択について」を議題といたします。

事務局より説明を求めます。

長尾教育推進
課長

議案第17号「令和6年度使用松原市立義務教育諸学校教科用図書（中学校）の採択について」、ご説明させていただきます。

まず、議案説明資料5ページをご覧ください。

義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律第14条に、義務教育諸学校において使用する教科用図書については、法令で定めるところにより、政令で定める期間、毎年度、種目ごとに同一の教科用図書を採択する旨と定められております。

続いて、議案資料7ページをご覧ください。

令和5年4月14日付大阪府教育委員会教育長名で発出の義務教育諸学校における令和6年度使用教科用図書の採択について（通知）の1枚めくっていただいて資料8ページ、基本事項1、市町村教育委員会におけ

る採択の基準について、その（２）の２行目、真ん中です。

同法無償措置法という第14条、同法施行令第15条第１項の規定により、令和５年度使用教科用図書と同一の教科用図書を採択しなければならないと示されております。

本市教育委員会といたしましても、これらの通知に基づきまして、別紙の議案書４ページの令和６年度使用中学校教科用図書（案）のとおり採択することを求めるところでございます。

以上でございます。よろしく願いいたします。

美濃教育長

説明は終わりました。

ただいまの件について何かご意見、ご質問はありませんでしょうか。よろしいですか。

各 委 員

なし。

美濃教育長

ないように見受けられますので、議案第17号「令和６年度使用松原市立義務教育諸学校教科用図書（中学校）の採択について」を可決することにご異議ございませんか。

各 委 員

異議なし。

美濃教育長

異議なしと認めます。

よって、議案第17号「令和６年度使用松原市立義務教育諸学校教科用図書（中学校）の採択について」は可決されました。

続きまして、議案第18号「令和６年度使用松原市立義務教育諸学校教科用図書（小学校）の採択について」を議題といたします。

この教科用図書の採択に関しまして、教育委員会は４月19日付文書番号松教推第30号で松原市立義務教育諸学校教科用図書選定委員会に対しまして選定に関して調査研究を行い、ご意見をいただくよう諮問いたしました。

先日、選定委員会での審議を終え、７月13日に答申をいただきました。その後、各委員の皆様とは勉強会としてお集まりいただき、今回の教科書採択に当たりまして、文部科学省からの通知や見本本の展示の際の市民の皆様からのご意見等に基づいてご説明をさせていただきました。本日、答申文の写しを机上にお配りしております。

それでは、この答申文を中心に教育委員会の判断と責任で松原市の子

供たちに最も適した教科用図書の採択に関する審議を進めたいと思います。

この答申文以外に資料等はございませんでしょうか。
お願いします。

山森学校教育
部長

この答申文以外の資料ということでございますので、ご説明を申し上げます。

この間、選定委員会の下に調査委員会を置きまして調査研究を行い、その結果を調査員報告書として提出いただいております。その調査報告書がまずございます。

また、大阪府教育委員会が作成しました教科用図書選定資料、文部科学省より示されました各教科書発行者の編集趣意書がございます。さらにそれらを踏まえて選定委員会を4回開催いたしまして、その際の議事録もございます。加えまして、教科用図書の採択に関わる文部科学省並びに大阪府教育委員会の通知等がございます。あわせて、教科書センターに寄せられました市民の意見、各小学校及び研究会からの参考資料、市教育委員会に寄せられました各種団体等からの要望書等がございます。

今申し上げました資料につきましては、委員の皆様のごようど左前方、こちらのテーブルの上に全て並べておりますので、どうぞよろしく願いたいいたします。

以上でございます。

美濃教育長

ありがとうございます。

それでは、それらを参考にしながら採択に関する審議を進めたいと思います。

まず、事務局より提案があるようなので願いたいいたします。

矢野学校教育
部次長

教科書の検索及び専門的な内容についての質疑につきまして、その補助要員といたしまして教育委員会指導主事を8名出席させたいと思いますので、ご承認いただきますようよろしくお願いいたします。

美濃教育長

ただいま事務局より提案のありました指導主事8名の出席について、承認することにご異議ございませんか。

各 委 員

異議なし。

美濃教育長

異議なしと認めます。

よって、指導主事8名の出席を認めます。

入室をお願いいたします。

(指導主事 入室)

それでは、この間の調査研究活動の経緯についてのご報告をお願いいたします。

矢野学校教育
部次長

私のほうから、この間の調査・研究活動の経過についてご報告いたします。

まず、5月11日、第1回選定委員会を開催いたしました。選定委員に委嘱、委任状を交付した後、教育長から選定委員会に諮問文が手交されました。また、事務局から教科書採択の仕組み等の説明がありました。

5月18日、調査委員会を開催いたしました。調査員に任命状を交付し、調査研究に当たっては、学習指導要領の各教科の目標や内容にのっとり、教科書採択に関わる国・府の通知等を踏まえること、さらに府の選定資料に基づき調査を進めるよう指示いたしました。また、守秘義務と公正確保についても確認をいたしました。

その後、四、五回程度の調査委員会議が開催され、各者の教科書の特に優れた観点が文章表記され、調査報告書として選定委員会に提出されました。

そして6月30日、第2回選定委員会を開催いたしました。まず初めに、学習指導要領の各教科の目標や内容にのっとり、教科書採択に関わる国の通知等に基づき、府の選定資料も踏まえ、選定の審議をしていただくよう確認をいただきました。調査員報告書に基づき、調査員代表者から報告があり、質疑応答がありました。最後に、答申の取りまとめの方法についての協議があり、調査員報告書、調査員代表の口頭報告並びに選定委員会の論議を踏まえ、特に優れている点について答申文を作成することを決定いたしました。

7月7日、第3回選定委員会を開催いたしました。答申文に書き入れる各教科書の内容と答申文の前文に書き入れる内容について協議いたしました。

7月13日、第4回選定委員会を開催いたしました。委員長による取りまとめの前文と各教科書の総合所見を合わせた答申文について協議し、決定をいたしました。そして同日、選定委員会より教育長に答申が提出されました。

以上でございます。

美濃教育長

ありがとうございます。

ここまでで何かご意見、ご質問はございませんでしょうか。よろしいですか。

各 委 員

なし。

美濃教育長

では、ないように見受けられますので、松原市教育委員会会議規則第13条及び第16条に基づき、今回、令和6年度使用松原市立義務教育諸学校教科用図書（小学校）の決定の方法について、細則をお諮りしたいと思います。

教科用図書の採択につきましては、教育委員会の判断と責任において行うという観点から、答申を踏まえた審議によって決定したいと考えております。

採択の方法については、同規則第13条第2項の規定により、教育長及び教育委員による無記名方式の投票によって行いたいと考えております。

1回目の投票の結果、過半数を取った教科用図書を採択いたします。過半数に満たない場合は、得票があった教科用図書について、再度審議を深めた上で再投票いたします。2回目以降の投票で過半数を取った教科用図書があればそれを採択し、過半数を取ったものがなければ、得票があった教科用図書について再度審議・投票を繰り返し、最終的に過半数を取った教科用図書を採択いたします。

なお、同数が2回繰り返された場合は、教育長採決により決定いたします。

投票につきましては、時間短縮のため、複数種目をまとめた投票を行います。

複数種目といたしますのは、最初に、国語、書写、社会、地図の4種目について質疑、審議を行った後、4種目についての投票をまとめて行います。仮に先ほど申し上げた過半数に達しない種目が出た場合は、その種目に限り再審議、再投票を行います。

次に、算数、理科、生活の3種目について質疑、審議の後、投票を行います。

ここで一旦、15分程度休憩を取らせていただきます。

休憩後、音楽、図画工作、家庭の3種目について質疑、審議の後、投票を行います。

最後に、保健、英語、道徳について質疑、審議の後、投票を行い、終

了となります。

なお、投票の実施につきましては、静ひつな環境を保持するために議場を閉鎖し、会場への出入りを禁止したいと思います。

皆様よろしいでしょうか。

各 委 員

異議なし。

美濃教育長

ありがとうございます。

異議なしと認めます。

それでは、これより小学校教科書採択の審議に入ります。

まず、選定委員会の答申文の概要について報告をお願いします。

山森学校教育
部長

それでは、私のほうから、今ございました答申文の概要についてご説明を申し上げます。

学習指導要領の示す教科の目標、内容を踏まえまして、また、大阪府教育委員会からの令和6年度使用教科用図書選定資料に示されました項目・観点並びに本市教育の特色、地域及び児童の実態に配慮するとともに、調査員による調査報告書に十分留意し、調査・研究、審議に努めてまいりました。

このような観点を基に審議の経過を踏まえ、各種目ごとの教科用図書について選定に関する意見を別添のとおり答申しております。

以上でございます。

美濃教育長

ありがとうございました。

それでは、全13種目ございますけれども、初めに、国語から審議いたします。その後、続けて書写、社会、地図について審議を行ってまいります。

既に勉強会でいろいろと見ていただいておりますが、改めて各委員よりご意見、ご質問をいただきます。

ただし、時間の都合上、質問は3つ程度でお願いできますようよろしくお願いいたします。

ここまでよろしいですか。

では、国語についてになりますね。

国語につきまして、じゃ、質問のほうをお願いできればと思います。いかがでしょうか。

和田委員

それでは、私のほうから質問させていただきます。

一応、私は立場上、学習指導要領ということの絡みでこの後も質問させていただきたいと考えていますので、よろしくお願いします。

新しい学習指導要領では、主体的で対話的で深い学びというのがキーワードになっていると思うんですが、まさにこの国語という教科は、主体的・対話的で深い学びということが全てに関わる一番根本的な教科かなというふうに思っているんですけども、そのあたりで各教科書会社さんは多分工夫されていると思うんですが、特に特徴的なところ、こういう点が特徴的な教材ですとかいうのがありましたら、教えていただきたいなと思います。

宮下主幹

今ご質問にありましたとおり、全ての教科書会社のどの学年のものにも様々な工夫が見られます。特徴的な部分をご説明いたします。

まず、教育出版です。3年生の下、23ページをご覧ください。

学校生活の中に絵文字を取り入れることを題材に役割を意識して話し合い活動を行うことが以降、具体的に示されております。

続いて、同じく3年生の下、74ページをご覧ください。

地域の行事を題材にグループでの発表に向けて役割を意識した話し合いや計画立てを行うという言語活動が以降、具体的に示されています。

このように主体的な役割を深めていくという段階を意識した構成になっております。

教育出版は以上です。

次に、東京書籍です。

東京書籍、5年生、118ページをご覧ください。

右にありますとおり、言葉の力として意図を明確にしながら計画的に話し合おうと、まず右に活動の目標が示されています。以降、附箋を用いた話し合いの方法が具体的に示されています。

続いて、同じく5年生の230ページをご覧ください。

先ほどと同様、言葉の力として反対意見を予想して書く等、端的に活動の目標が示されています。

このように自分の意見を明確にするという段階から自分の意見に対する周りの反応を意識するという段階への移行を意図した構成になっております。

最後に、光村図書です。

6年生の102ページをご覧ください。

右にありますとおり、対話の練習と端的に書かれています。自分の考

えやその理由を伝えると同時に、他者の考えや理由を聞いて自分の考えや理由を見直すという対話の基本形となる言語活動例が示されています。

続いて、同じく6年生の140ページをご覧ください。

右に目的や条件に応じて話し合おうと端的に書かれています。交流行事についてみんなが納得できるための話し合い活動が具体的に示されています。

このように他者の考えを踏まえて自分の考えを見つめ直すという段階から、自分と他者の考えをまとめるという対話の段階への移行を意図した構成になっております。

以上です。

美濃教育長

ありがとうございます。

ほかにご質問、いかがでしょうか。

田中委員

ちょっと視点を変えまして、子供たちの学力を下支えするために子供たちが本に親しんで本が好きになることが大事だと思うんです。最近、昨今、子供たちの本離れというのが進んでいるということも聞きます。本離れイコール、物事を読み解く力、読解力というものが低下してきているんじゃないかなというのが危惧されるんですけども、そういった点を克服するというんですかね、そういった点からどのような工夫がされているかということをお教えいただきたいんですが。

宮下主幹

いずれの会社も読書活動には力を入れていて、巻末や単元の終わりにたくさん本が紹介されているのがあります。

まず、光村図書です。

2年生の下、13ページをご覧ください。

アーノルド・ローベルの「お手紙」という教材です。これは子供たちが大好きな話です。この話の作者は、ガマ君とカエル君が登場する短い話をたくさん書いているという作者です。

同じく2年生の下、142ページをご覧ください。

同じく同じ作者の別の作品が掲載されています。このように同じ作者、同じ登場人物の作品を掲載することで、親しみやすく、もっと読みたいと思わせるよう工夫されています。

次に、東京書籍です。

東京書籍の5年生の204ページをご覧ください。

ここには読書マップが紹介されています。魔女の宅急便をスタートに

魔女、働くなどのワードで関連する本をつないでいます。これを見せ合うことを通してほかの本にも興味を持てるよう工夫されています。

最後に、教育出版です。

教育出版、6年生の下、67ページをご覧ください。

読書タイムラインが紹介されています。読書履歴を基に1年生のときから心に残った本を振り返り、一つのラインに並べてみて交流するものです。どのような本を読んだのかは、松原市では学校図書館の蔵書システムで電子管理されているので、すぐに取り出すことができるようになっております。

以上です。

美濃教育長

ありがとうございます。

ほかはいかがでしょうか。

はい、どうぞ。

佐野委員

入学したての1年生の子供たちは、意気揚々としていて、これからどうなんやろうとかいうのと反面、不安にさらされていると思うんです。そういう1年生の初めに子供たちが意欲的に取り組めるような工夫というのがありますか。

宮下主幹

現在の学習指導要領でもスタートカリキュラムとして幼稚園の教育内容との円滑な接続を図るようになっていわれています。子供たちが期待を持って進んで学習できるよう各者とも工夫されています。

まず、東京書籍です。

1年生の上、14ページをご覧ください。

ここには声の物差しが大きく描かれています。動物の画面が対応するよう分かりやすく描かれています。

続いて、同じく1年生の上、58ページをご覧ください。

文字の横に手の絵が描かれています。発音しない促音を意識するための手拍子です。子供がつまづきやすい内容を分かりやすく伝えています。

続いて、教育出版になっております。

教育出版、1年生の上、14ページをご覧ください。

学習時の正しい姿勢の写真のそばにオシピン、グーヒトツ、アシケタなどの言葉が添えられています。先生が声をかけるだけその姿勢が取れるよう工夫されています。

続いて、同じく1年生の上の28ページをご覧ください。

クマとアリのお話です。画面いっぱいの大きなイラストですが、クマの言葉は大きな文字、アリの言葉は小さな文字になっています。子供たちがクマやアリになり切って同じ言葉を声の大きさの工夫をしながら楽しむことができるようになっています。

教育出版は以上です。

最後に、光村図書です。

光村図書、1年生の上、18ページをご覧ください。

このページでは、少人数に対して自分の思うこと、考えたことを発表する方法が書かれています。

続いて、同じく1年生の上、26ページをご覧ください。

このページでは、部屋での対話の方法が書かれています。このように具体的な場面を通して主体的・対話的な学習の姿を端的に提示することで、これから伝え合って学習を進めるための基本的な事柄を指導することができるよう工夫されています。

以上です。

美濃教育長

ありがとうございました。

国語の審議はここまでとして、次の種目、書写についての審議を行いたいと思います。

委員の皆様、ご質問等ございますでしょうか。

じゃ、お願いします。

和田委員

すみません。やはり学習指導要領の関係で、書写の指導は実生活との関係をより実生活で役立つようにということで指定されているんですけども、そのあたり工夫されているというか、かなり意識されている教科書の部分がありましたら教えていただけますか。

小山主幹

各者とも日常生活とつなげた内容が取り上げられております。

まず、東京書籍を見ていただきます。

2年生の15ページをご覧ください。

こちらでは、連絡帳、子供たちにとっての日常生活という形での連絡帳でどのように書写を生かすかというようなことが書かれております。

さらに25ページをご覧ください。

こちらでは生活科の観察カードを取り上げています。

このように日常生活とつなげた内容が取り上げられております。

続きまして、教育出版、4年生の4ページをご覧ください。

見開きの部分です。こちらは目次になっていますが、4ページの下のところ、こちらに社会や理科ノート、都道府県名の資料も掲載されています。

このように目次の中でもどのようなほかの学習や生活で生かされるか、こういったことがこちらでは分かりやすく表現をされております。

続きまして、光村図書4年生の20ページをご覧ください。

この20ページには、理科ノートの書き方、こちらに書写を広げたいというような形があります。その続きからはSDGsブックのページもあります。

書写以外の学習の際にも書写の教科書を開かせたくなるような工夫が各教科書それぞれ多数取り入れております。

以上でございます。

美濃教育長

ありがとうございます。

ほか、いかがでしょうか。

新田委員

特に毛筆の指導というのが3年生から始まるということになろうかと思うんですけども、なかなか今スマートフォンが普及して、大人でも、硬筆もそうですけども、書くことが少なくなっている中で、1年生、2年生になると硬筆との関連性とか、つながりというのを意識されている教科書、工夫というのがありますでしょうか。

小山主幹

ありがとうございます。

そちらについては、6年生の例を見ていただきたいというふうに思います。

東京書籍、6年生、12ページをご覧ください。併せまして教育出版も20ページをご覧ください。併せて見ていただくと分かりやすいと思います。光村出版も6年生の10ページをお願いいたします。

どの教科書も毛筆で書く前にその時間の指導事項に関連した疑問を投げかけたり、なぞり書きをしたりして毛筆で書く活動へと入っていく工夫がされています。そして振り返りの場面でもう一度硬筆、いわゆる鉛筆に持ち替えて学んだことを生かして書けるよう記入スペースが設けられています。東京書籍についてはフリースペース、教育出版については試し書きやなぞり書き、光村書店についてはなぞり書きというふうになっております。

以上でございます。

美濃教育長	<p>ありがとうございます。 ほか、ございませんでしょうか。 お願いします。</p>
佐野委員	<p>全ての教科書でも言われていると思うんですが、人権的な配慮について、書写の教科書についてはどのような工夫がされていますか。</p>
小山主幹	<p>ありがとうございます。 もちろんだの全ての教科書においても人権的な配慮がなされておりますが、東京書籍のほうを見ていただきます。 3年生の教科書になりますが、どの教科書もそうなんですけれども、QRコードを読み取り、運筆などの動画コンテンツが豊かに掲載されています。どのページにもQRコードがあると思います。 このQRコードをかざして動画コンテンツを見てみると、字幕をつけることができるというような配慮がされています。耳の聞こえにくい児童や視覚優位の児童などにも特に配慮されている例かなというふうに思っております。 以上でございます。</p>
美濃教育長	<p>ありがとうございます。 それでは、書写の審議はここまでとして、次の種目、社会についての審議を行います。 委員の皆様、ご質問いかがでしょうか。 お願いします。</p>
田中委員	<p>社会では、6年生で初めて歴史を学ぶと思うんですけれども、この歴史というのも好きな子もおれば、そうでない子もおるというんですけれども、各者、この歴史に興味を持たせるための導入方法、この辺はどのような工夫をされているのか教えていただきたいんですが。</p>
美濃教育長	<p>お願いします。</p>
廣野主幹	<p>歴史の導入ということですので、まず、6年生になります。東京書籍からご説明させていただきます。 6年生歴史編、2ページをご覧ください。</p>

ここが歴史の始まりということになりますが、みんなが知っているであろう人物であったりとか、歴史的建造物の写真を集めています。その中で知っていることを話し合ってから始めようということになっています。そしてまちの変遷や祭りあるいは芸能、電気製品の進化も含めて思ったことを話し合うという活動となっています。

そこから次のページ、4ページにいきますと、年表の見方を知り、さらに次の6ページになりますと、歴史博物館に見学に行くということを提案し、歴史の導入というふうにしております。

続いて、教育出版、これも同じく6年生です。

68ページをご覧ください。

教育出版はこの68ページからが日本の歴史ということになっております。その前の段階、この6年生の教科書の最初の6年生の初めに政治の勉強をしていますので、そのことを踏まえて選挙の今昔から入っているということです。100年前の選挙は女性が何人なり、いないとかあるいはもっと言うともっと政治には関心があったということとかを想像しながら、人々の暮らしや政治の仕組みがどのように変わってきたのかを調べようということになっています。

そして71ページ、この手がかりを探すために歴史博物館を見学しようということで、歴史の学び方を学習していくという流れになっています。

最後、日本文教出版をご説明いたします。

6年生、62ページをご覧ください。

ここには大きな写真で堺の大仙古墳の写真が載っています。そして竹内街道、それから行基と井戸であったりとか、与謝野晶子の歌碑あるいは千利休の屋敷跡などを参考に、自分の住んでいるまちの昔の人とつながる歴史のサインというのを見つけて、歴史について考えていこうというのが最初になっています。

そして64ページ、次のページにいきますと、今度は歴史博物館の見学のポイント、これを学んだ上で、続いて、開けて67ページ、これは等尺年表を使い、どのくらい昔のところかを考えながら歴史の見方、考え方を学んで、次のページから歴史の始まりというふうになっています。

以上です。

美濃教育長

ありがとうございます。

ほか、ございませんでしょうか。

新田委員

質問なんですけれども、今の社会というのは非常に進化が著しくて、

例えばA I だったりとか、それからI C Tとか、そういった情報関係のものというのはかなり教科書で書かれているものと現実のもの、今後は差異が出てくるんじゃないかなと感じるんですけども、子供たちが学習を終えて将来社会に出たときに必要なこういった一番最先端、このあたりというのは教科書ではどのような扱いになっているのか教えてください。

情報のI C Tや情報のことでご質問いただきました。

各者ともこの情報については5年生の産業の単元で扱われているのがメインになっています。それぞれについてご覧いただきたいと思います。

東京書籍、5年生の下の50ページからをご覧ください。

ここからが情報化した社会と産業の発展という単元になりますが、52ページを続いてめくっていただくと、テレビ放送のニュースづくりについて始まっています。ずっとそのままニュースづくりの話が進んでいきまして、60ページまでお進みください。ここからは私たち情報を受け取る側への影響についても考えて、この次の62ページでそれについてまとめるという活動が入っています。

続いて、64ページになってくると、ここからが新聞についての内容が見開き2ページに取り上げられています。

A Iについては、その先のコンビニや物流を題材した情報を生かす産業という66ページ、ここの左下のところに人工知能(A I)というところで取り上げられています。

80ページに続いていただきますと、80ページからは、情報を生かす私たちとして、今度はルールやマナー、インターネットを使った学習などについて学び、84ページ、ここで情報の役割というところで今後に生かすようなつくりになっています。

以上、東京書籍です。

続いて、教育出版、こちらも5年生、178ページをご覧ください。

ここからテレビ、さっきの放送局、テレビ放送のニュースづくりを取り上げていますが、豊富なインタビューでどんどん調べていくというような形になっています。たくさんインタビューが載っています。

187ページに移ってください。

ここで情報を受け取る側が大切にすべきことと関連づけて考えています。

続いて、188ページでは新聞についての内容が掲載されていました。

また、小売店というのを題材に194ページをご覧ください。

194ページのところに大量のデータということで、ビッグデータについてあるいは197ページのほうで、ここで同じA Iについて取り上げており、198ページでこれからの情報通信技術と私たちというところで、その課題とか問題点に調べるという活動が入っていきます。200ページになりますと、これらの課題をキーワードとして学習をまとめ、つなげるという流れになっています。

最後、日本文教出版についてご説明いたします。

同じく5年生です。196ページをご覧ください。

ここから、196ページから日本文教出版は新聞の記事づくりについて追求するということになっています。204ページまで進んでいただきますと、そのページには新聞の見比べ方も取り上げています。206ページ、ここではマスメディアと私たちの関わりを考えるとということになっています。

A Iについては、207ページの欄外のところにあるいは本文のところに書いてありますが、メディアの利用という中で取り上げられているということになっています。

情報モラルについては、207ページの最後に、さらに考えたい問題ということがありまして、208ページ、情報社会の問題であったりとか、209ページ、情報を送る側と情報を受け取る側の情報の扱い方と注意点について扱われています。

続いて、210ページは、テレビ放送について、ここからの4ページ分が書かれています。

さらに214ページに移っていただきますと、アイスクリームを作る会社の気象情報利用を題材に、ここまでで発見した学習問題を追求・解決するという流れで終わっています。

以上です。

美濃教育長

ありがとうございます。

ほかにございませんでしょうか。

和田委員

すみません。今の歴史の分野と情報、現代社会の分野で質問があったんですけども、社会の分野でいきますと、公民、市民としてというか、国家の形成者としてという観点と、あと地理的な分野の観点があるのか、質問させていただきたい、そんなところですね。

また、市民といいますか、公民というんですか、公民としての資する基礎という形で、国家及び社会の形成者として必要ということが今、社会の中で当然必要なことだと思っうんですね。これは道徳でも出てくると

思うんですけれども、このあたり強調されているところで特徴的なところを教えていただきたいのが1点です。

あともう一点は、地理的な分野で、今回この審議をするに当たって各者の教科書が自宅に届きましたよね。どさっと箱に2箱、この箱が届いたわけですけれども、それをずっと見させていただいて、特に地理的な分野を見ますと、教科書によって割と身近な近畿エリアの部分を取り上げている教科書と、そうではなくて北海道とか、東北とか、かなり全国的に取り上げている、そこが若干違いがあるなど感じたんですけれども、これは実際に教える立場として、感想で結構なんですけど、教える立場としてどっちが、子供たちには日本は広いんだよということでそういういろんなところを取り上げているほうがいいのか、子供やと反応もいいのか、それともやはり一定、このエリアの観点で子供たちにちょっと知っているのかな、そういうところのほうが反応がいいのか、そのあたり、これはもう感想になるかと思うんですが、その辺を教えていただきたいなと思います。2点、すみません、お願いします。

廣野主幹

まず、地理と公民というようなところでご質問いただきました。

まず最初の方のご質問、公民というところで、まず社会を形成する公民的資質というところでいうと、社会にある問題というのを自分事として引き寄せて考えるというところが大事なのかなというふうに思っています。こういった点で各者の例を挙げさせていただきます。

東京書籍、ここは大単元の学習の後に「生かす」というページが設定されていることになります。5年生の上、122ページをご覧ください。

ここに「生かす」というところではありますが、私たちの生活と食料生産について考える単元の最後になっています。ここで取り上げられているのは、インターネットで食料生産の新たな取組を調べて日本の食料生産の未来について自分の考えをまとめましょうというような流れになっています。

続いて、教育出版、これについても大単元のまとめの後につなげるというページがあり、次の学習や暮らしにつなげるようにしています。

3年生、127ページをご覧ください。

地域の安全を守ることについて学習した後になります。地域の安全マップをつくるという学習が設定されていて、教科書で1コマで学んだことを自分の住んでいるまちに対して考えるという活動になっている、これはとても大事なことだというふうに考えます。

最後、日本文教出版、ここについては未来につなげる私たちのSDG

sというページがあって、単元の学習を終えた後、SDGsを関連づけて取り上げることとなります。例えば4年生、118ページをご覧ください。

ここに未来につなげる私たちのSDGsということで大きなページがあります。ここでは自然災害から人々を守る活動ということの学習を終え、先進的に災害に強いまちづくりをしている佐用町の取組を聞き、佐用町ハザードマップのことを知ります。その後、家の周りのハザードマップをつくるということで取り組んでいくと、このことはSDGsのゴールの11、住み続けられるまちづくりをに関連していて、先ほど申し上げた教育出版と同様、自分の住んでいるまちに返していくという活動になっています。

公民の話については以上で、続いて、先ほど2つ目に質問いただいた地域のことを知っていることのほうがいいかどうかというあたりですが、これも教師のスタンスによって、スタンスというか、教える流れとかによって異なることもあろうかと思いますが、一定、おっしゃるように地域のこと身近であるということはとても大事だと思います。先ほど公民的分野のところ、自分の地域に最後結びつけて考えるとあったんですけども、自分の地域のことから始まって最後に自分の地域に帰るというようなことは非常に大事なかなと思います。

教科書によっては、割と関西とか大阪にスポットが当たっているのが多い教科書もありますし、それ以外についても、大阪じゃなくてもより身近に感じられるような工夫はあると思います。

以上です。

美濃教育長

ありがとうございました。

それでは、社会の審議はここまでとして、次の種目、地図についての審議を行いたいと思います。

委員の皆様、ご質問、じゃ、どうぞ。

佐野委員

地図なんですけど、地図にたくさんの情報が載っているんですけど、子供たちが必要な情報をすぐに見つけられるという感じでもないんですよね。そういうところ辺に観点を置いて、見やすいという地図というのはどんな工夫がされているのでしょうか。

美濃教育長

お願いします。

廣野主幹

地図はたくさんの地図から、統計資料からたくさん載っているんです

けれども、まず、東京書籍のほうから説明させていただきます。

48ページをご覧ください。

東北地方の地図になっています。非常に大きいのでこれも見やすさの一つなんですけれども、土地の高さによる色分けがまずされています。それから全体的に明るい色合いで陰影をなくしていますので、どこに何があるかということが比較的に見やすいなというふうに思います。果樹園、田、畑、牧草地の多い地域には地図記号を記載していますし、文字としてはユニバーサルデザインフォントを使うことで見やすい記述を目指しているということでした。

続いて、33ページをご覧ください。

33ページあるいは45ページも、そのまま難しいんですけども、45ページもぱらぱらとめくっていただきます。その上で帝国書院のほうの同じく53ページ、それから53ページ、難しいですが、とか67ページ、これを両者見比べていただきますと、東京書籍のほうは大盤の地図を縦置きで使っているという感じになります。

続いて、帝国書院の説明をさせていただきます。

帝国書院については、74ページ、75ページをご覧ください。

先ほど東京書籍でもお伝えした東北地方の地図になります。この75ページのところには仙台市、74とか76ですね。74、76と縦に飛びますけれども、ここには仙台市とその周りの拡大図だけではなく、気仙沼の周辺の漁業の様子も拡大して掲載しています。そして東京書籍同様、土地の高低や土地利用で色を変えています、山の感じが分かるように一体感のある地図表現にしているということになります。

続いて、49ページ、あちこちいってすみません、49ページです。

ここでは、山と都心部の地形が分かりやすいように、先ほどと同じ山の感じが分かりやすくなっています。色分けのところかというと、今度は97ページをご覧ください。97ページ、あわせて、同じような地図が載っているのが東京書籍の69ページ、東京書籍の69ページを見比べていただきますと、境界が分かりやすくはっきりとした色分けで帝国書院は表現されているという特徴があります。文字としては通常ユニバーサルフォントに加えて独自開発したユニバーサルフォントも使っているということです。

以上です。

ありがとうございました。

ほかにございませんでしょうか。

美濃教育長

じゃ、お願いします。

田中委員

今説明の中でもちらちらと見せていただいたんですけども、当然地図帳というのは社会の地理の分野にメインで使うと思うんですけども、その中で自分は歴史が好きなので、歴史との兼ね合いというんですか、歴史を学習するときなどでも使うとかできている、そういった工夫はされているんですかね。

美濃教育長

お願いします。

廣野主幹

両者とも歴史で学ぶ事柄あるいは地図の中にイラストなんかで入れており、3年生から6年生まで幅広く使うことができるように工夫されています。

まず、東京書籍について、77ページをご覧ください。

年表と共にその当時の世界の様子、世界との関わりについての地図をたくさん掲載しています。また、教科書に登場する人物や事物のイラストも書かれているので分かりやすいです。キャラクターの吹き出しで注目してほしいポイントも示されていますし、年表もその次のページ、2ページにわたっているので、フォントが大きく、見やすいつくりになっています。

続いて、帝国書院です。

帝国書院は45ページをご覧ください。

ここがちょっと広い地図になっていますけれども、そこからさらに47ページには大阪を中心とした部分がより詳細に示され、49ページにいきますと、大阪府、大阪市がさらにどんどん細かくなっていくということで、50ページになりますと、地形が見やすく、古代の都市の移り変わりも分かりやすくなっているというふうに思います。

51ページには土地利用と産業もさらに見やすい、そのほかに歴史を伝えるページとして、55ページにそのまま進んでいただきますと、江戸時代の五街道とその利用について地図に示されていて、69ページになりますと、江戸時代の土地利用や暮らし、109ページには先ほどの東京書籍と同様に年表が載っていますが、帝国書院のほうは旧国名、鎌倉の詳細が掲載されているということになっています。

以上です。

美濃教育長

ありがとうございました。

ほかにございませんでしょうか。

新田委員

その地図帳を使うのは3年生からになるかなと思うんですけども、なかなか家庭で今、住宅地図であったりとか、お出かけのときとかもスマホのナビ機能を使ったりということで、紙の地図帳を使うということがなかなか全くないまま3年生を迎えるかと思うんですけども、初めて地図を見た子供たちが興味を持ちやすい、親しみを持ちやすい、学習にスムーズに入れるような工夫は何かありますでしょうか。

廣野主幹

3年生の地図利用ということで、東京書籍では、7ページ、8ページをご覧ください。

地図の必要性が書かれています。ここではまず、地上からまちを見ても見る範囲が限られていますよというところから始まって、斜め上から見たり、そして真上から見てということで、だんだん見えるものが広がっていく。そして上から見たまちから地図をつくるということで一連の流れが示されています。このときのポイントをキャラクターがセリフで話していて、地図というものの導入が非常に適切にされているというふうに思います。

続いて、帝国書院、13ページ、14ページをご覧ください。

3年生ということで、無理なく地図帳になじめるように教科書のような紙面と大きな文字、易しい文章とイラストで進められているという特徴があります。

9ページに戻っていただきますと、航空写真から地図表示があって、見ていただきますと今度はまた13ページに、再び戻ってもらうと、地図記号とか、15ページに土地利用、16ページにはトライというようなこともありまして、段階的に理解できるように工夫されています。さらに22ページからは、イラストが多めで文字数が少なくなっている特別な地図が掲載されていました。これらの段階を経て、続いて本格的に地図帳の利用を始められるという流れになっています。

以上です。

美濃教育長

ありがとうございました。

地図についての審議はこれまでといたします。

これで、国語、書写、社会、地図の4つの種目についての審議を終えましたので、この4つについて、採択について、投票を行いたいと思います。

事務局	<p>投票の進行については、事務局のほうにお願いしたいと思います。</p> <p>それでは、投票を行いますので、会場のほうを閉鎖させていただきたいと思います。</p> <p>会場の閉鎖をお願いいたします。</p> <p>(会場閉鎖)</p> <p>それでは、投票用紙の配付をお願いいたします。</p> <p>(投票用紙配付)</p> <p>それでは、お手元の投票用紙に1つだけ丸の記入をお願いいたします。ご記入いただけましたでしょうか。</p> <p>それでは、投票の前に投票箱の空虚確認をしていただきたいと思います。ご確認をお願いいたします。</p> <p>ご確認いただけましたでしょうか。</p> <p>それでは、投票箱の鍵を施錠させていただきます。</p> <p>それでは、投票箱を持ってまいりますので、投票のほうをお願いいたします。</p> <p>(投票用紙回収)</p> <p>それでは、開票のほうをさせていただきたいと思いますので、集計も行っていきますので、少々お待ちください。</p> <p>(開票)</p>
美濃教育長	<p>それでは、投票の結果を発表いたします。</p> <p>国語の教科用図書については、5票で光村図書出版、それから書写については、5票で教育出版、社会につきましては、5票で日本文教出版、地図については、4票で帝国書院というふうに採択することとなりました。</p>
事務局	<p>それでは、会場のほうの施錠を解除してください。お願いいたします。</p> <p>(会場開鎖)</p> <p>それでは、第2ターンのほうよろしくをお願いいたします。</p>
美濃教育長	<p>それでは、ここからは算数、理科、生活の順で質疑と審議を進めてまいります。</p> <p>まず、算数について、委員の皆様方、何かご質問ございませんでしょうか。</p>

佐野委員

算数の学習が子供たちの日常生活や実社会での場面と関連を出すということが大事なんです、そのための工夫とかはされていますでしょうか。

中川主幹

算数についてご説明させていただきます。

日常生活は実生活での場面と関連性を持たすということで、どのような工夫がされているかということについてご説明させていただきます。

学校図書の2年生下をご覧ください。

生活の中にある算数、それからこれまでに学習してきたことについて、目当てをつくって課題解決的に問題に取り組んでいくということで、2年生下の2ページ、ここには単元の初めにはてなを発見ということでページが設置されております。これから学習することが日常生活と結びつけられているというページになっております。

単元の終わりのまとめにつきましては、21ページをご覧ください。

できるようになったことということで、それまでの学習を通してどんな力がついたかということを確認できるようになっております。それから次のページの22ページは、振り返ろうということでこのようなページが設置されております。それからこの続きで2年生の76ページには、なるほど算数という生活の中に使われている数の意味について紹介をしているページがございます。

それから、学校図書、5年生の下、108ページをご覧ください。

5年生の下、108ページにつきましては、割合の学習を扱っております。給食のご飯の量についてという課題を出しております、こういった日常生活に関連づけている工夫がされています。

学校図書、以上です。

続きまして、教育出版の1年生、75ページをご覧ください。

教育出版1年生、75ページでは、学習したことと日常生活、それから社会とのつながりということが示されております。他教科との関連のある課題設定がされておまして、1年生の算数夏休みであったりだとか、このまま進んでいただいて、112ページ、112ページの秋見つけなど、生活科や季節とつながる課題になっておりますし、他教科と関連づけられているという工夫がされております。

それからこのまま進んでいただいて、89ページのところも数を探そうということで、身近な数を載せて2年生の学んだことを使いながら数に慣れ親しむという工夫がされているということです。

以上です。

美濃教育長

ありがとうございます。
ほか、いかがでしょうか。
お願いします。

田中委員

児童の発達段階に考慮した写真だとか、図表などの資料の配置や文章の記述内容や文章の分量について何か特徴的な教科書というのはありますか。

それとあと、算数から中学校では数学という名前が変わっていくんですけども、この辺の移行について考慮した教科書というのがあれば教えていただきたいんですが。

美濃教育長

お願いします。

中川主幹

児童の発達段階を考慮したというところで工夫されている教科書についてご説明させていただきます。

啓林館の1年生のスタートブックというのをご覧ください。

こちらのスタートブックでは、例えば一番最初の4ページをご覧ください。写真や挿絵、それから図表など、資料が発達段階を考慮したものになっているというところでいいますと、この1年生の挿絵のように児童のイラスト、場面の状況が捉えやすくなっているというところで工夫がされております。

また、中学校との連携でということ、同じく啓林館の6年生の10ページをご覧ください。

6年生の10ページでは、対象な図形ということで、導入に身の回りにある対象なもの写真を用いたりするなど、この問題設定が実社会の中にあるということの意識を育めるような工夫が見られます。

啓林館は以上です。

続きまして、東京書籍の1年生、はじめよう算数というこれも別冊になっている分です。ご覧ください。

東京書籍の1年生、はじめよう算数です。こちらでも文章の記述、それから分量について1年生では配慮がされております。例えば6ページ、7ページを見ていただきますと、挿絵が1ページ全てを使って数を数える対象ということになっております。学年が上がるにつれてこういった挿絵等の情報量が増えていくようになっておりまして、同じく東京書籍の6年生の8ページ、先ほどの対象図形と重なっているんですけども、

このように単元の導入例、より問題場面を把握できるようなこういった写真等が使われております。

また、6年生につきましては、中学校との連携を意識してということで、東京書籍では1冊構成というふうに思っております。

以上です。

美濃教育長

ありがとうございます。

ほかはいかがでしょうか。

和田委員

さっきのターンで聞いたほうがよかったのかもしれませんが、タブレットが全校に入っているという状況で、それを使って国のほうでは個別最適な学び、そして協働的な学びを進めてくださいということになっています。この算数の教科書でそのあたり意識されているというか、かなり工夫されているようなところがあったら教えていただけますか。お願いします。

中川主幹

大日本図書6年生をご覧ください。

大日本図書の6年生、6ページです。個別最適な学び、協働的な学びについての工夫ということで、児童の学び方がこの6ページ、7ページのように例示されているとともに、それぞれの学びを一体的に充実させるような課題が設定されております。このように学習の学び方のページで学習の進め方、それから考え方について書かれているところがあります。

それからこのまま進んでいただいて、次の8ページには、ノートの書き方の例ということで、自分でどのように工夫してノートをつくっていくかということが示されているというのが特徴になっております。

続きまして、日本文教出版の4年生の下の47ページをご覧ください。

こちらのほうは、単元の様々なところに、自分で、みんなでというページがあります。例えばこの面積の求め方についても、2人の考えから自分の考えと同じところや違うところを話し合ったり、それから2つ一緒の考え方と比べるといったこの学びから協働的な学びになるように提示されております。

それから少し戻っていただいて、41ページは陣取りゲームを通して面積の求め方、考え方をという場面になっております。この4年生の面積では、陣取りゲームの中で面積の求め方を考えるといった形でグループで話し合いができるようなこういった課題の設定が工夫されているということです。

以上です。

美濃教育長

ありがとうございました。

算数の審議はここまでとしたいと思います。

次の種目、理科についての質疑をお願いできればと思いますが、いかがでしょうか。

佐野委員

経験年数の短い教員が多くなっているというふうに聞いております。そのような現状の中で、よりよい授業をつくっていくための経験や知識、検証のために各教科書ではどのような工夫がされておりますか。

植田主幹

経験年数の短い教員として、このような現状の中で経験や資質の検証のためにというような視点で教科書を選んでいくということにつきまして、どの教科書につきましても、理科の見方、考え方を育むということを意識した教科書づくりや情報の充実など、それぞれに工夫をされております。

その中でも大日本図書では、補充的、発展的な内容が充実しております。例えば5年生の15ページを開けてください。

この15ページでは、天気の世界になるんですけども、15ページから17ページにかけて、ここはサイエンスワールドという枠であったり、理科の玉手箱というようなところで広く知識を補うような補充的な内容が充実しております。

また、そのまま進んでいただきまして、57ページに進んでください。57ページでは、台風の世界を扱っているんですが、こちらでも複数ページにわたって日常生活に、特に防災の観点からも含めて紹介がされており、知識力なんかをサポートする効果があるというふうに考えております。

続きまして、啓林館のご説明をさせていただきます。

啓林館の6年生、118ページをご覧ください。

ここでは月の世界になるんですけども、このページに限らずなんですが、資料が閲覧できるQRコードというものが出ております。このQRコードの中のコンテンツなどが非常に豊富で、教科書に掲載する情報を押さえつつ、デジタルコンテンツを充実させることで一つの事象を深く掘り下げる、そして授業を結果的にサポートするような、そういう効果があると考えます。

では、続きまして、学校図書の説明をさせていただきます。

学校図書の6年生、156ページをご覧ください。

6年生の156ページは、水溶液の性質の単元になるんですけども、この中で問題意識のところでは4種類の水溶液にはそれぞれ何が溶けているのか、また、ページを進めていただきまして、161ページ、炭酸水から出てくる泡は何だろうと、また、168ページに進んでいただきまして、168ページでは、塩酸は金属を溶かすのだろうかなど、この問いかけの言葉が児童のなぜというその実感に非常に近く、そして具体的でシンプルな質問をつくっております。問題解決の過程を意識した紙面づくりを心がけており、より理科の見方、考え方を育む効果があるというふうに考えております。

以上です。

美濃教育長

ありがとうございました。
ほかにはいかがでしょうか。

新田委員

先ほどご説明いただいた内容と重複するところもあるかなと思うんですけども、GIGAスクール構想で、端末、タブレットが配布されているわけで、各教科ほとんどのページにいろんなところにQRコードがついているのが目につくんですけども、どのような中身、コンテンツとして工夫されているのか教えていただきたいと思います。

美濃教育長

お願いします。

植田主幹

各教科でのタブレットを活用する機会の工夫という、ICTの活用の工夫ということなんですけれども、どの教科書でもQRコードを用いて関連のコンテンツにすぐにアクセスできるような、そういった工夫がされております。

東京書籍を紹介させていただきます。4年生の9ページをご覧ください。

9ページでは、植物・動物の観察ということで、タブレットを持って観察に行く、そういった活動の紹介がされております。その中で、QRコードで観察をするために必要な情報が複数表示されまして、児童が自由行動になった際に分からないことがあっても自分で調べることができるよう工夫されております。

また、このQRコードを読み取ることでデジタルワークシートというものが出まして、そのまま入力することができて、このタブレット一台

をもって観察に臨むことができます。そういった工夫がされております。

続きまして、大日本図書、4年生の217ページをご覧ください。

この217ページでは、タブレットを使う際のコツとといいますか、ポイントをまとめております。撮影のコツであったり、インターネット利用の方法または注意点などをまとめており、また、3年生の95ページでは、写真をご覧くださいと、タブレットを実際に用いて具体的なもの、活動場面を紹介しながら、この撮影したものをまた活用するように96ページ、そのままページをめくってください。そこでは交流を実際に行う場面でもタブレットを用いて日常的にこのタブレットを活用する、そういった活動の紹介がされております。

続きまして、啓林館をご覧ください。

啓林館は、単元を通してのコンテンツ、サポートコンテンツが非常に充実しております。5年生の122ページをご覧ください。

ここは振り子の単元になるんですが、この振り子の単元では、123ページにあるこのQRコードは、振り子の動きに合わせて音楽が流れるようなコンテンツになっております。

ページをめくっていただきまして、126ページに進んでください。126ページでは、実際、振り子の実験をする際に表があるのですが、この表の上にあるQRコードを読み取りますと、入力することで計算をしてくれるような計算ソフトがついたようなコンテンツがついております。

このように単元の中で計算ソフトなど、こういうことを充実させて、全学年を通してこういったサポートが得られます。また、イラストデータ集なども用意されておまして、イラストや表など、書く時間を短縮することにもつながっております。

以上です。

美濃教育長

ありがとうございます。

ほか、いかがでしょうか。

田中委員

理科というのは非常に日常のなぜというものを知る上で非常に面白い教科だなと個人的には思っておるんです。そういった意味で子供たちにも入りやすい教科かなと思っているんですけれども、一方、通常の学級に在籍する特別な教育支援を必要とする児童の割合が増加傾向にあるというのを聞いております。これも現実だろうと思うんですけれども、そういった意味で各教科書ではどのような配慮がなされているのかというのを少し教えていただきたいんですが。

美濃教育長

お願いします。

植田主幹

教育的な支援を必要とする児童への配慮ということにつきまして、どの教科書についても教育的な支援が必要な児童の学習に対する困り感を少しでも軽減するような、そういった工夫がされております。

例えばユニバーサルデザインフォントを採用する、また、見やすいレイアウトの工夫やデジタルコンテンツの充実など、各者、非常に工夫がされているというふうに考えております。

その中でも東京書籍では、漢字の読みに困難がある児童のために、単元の導入ページ、また、その単元末のまとめでは全ての漢字に振り仮名をつけるなど工夫をしております。

3年生の22ページ、23ページをご覧ください。

これはチョウの観察の単元になるんですけども、この一番最初の単元の始まりのページでは、漢字にルビ、読み仮名がついております。この単元の終わりのページがめくっていただきまして32ページとなります。32ページでは、まとめというページがあるんですが、そのまとめの内容につきましては、ここについても読み仮名がついております。

このように必ずこの始めと終わりのところには読み仮名をつけるなど、そういったサポートがされております。

続きまして、教育出版ですが、4年生の135ページをご覧ください。

4年生の135ページ、ちょうどこのページの全体、薄い黄色で落ち着いた色合い、また、この文章や図の配置など、見やすいレイアウトの工夫で目に優しい印象があるような、こういった工夫がされているというふうに考えております。

最後に、啓林館の紹介をさせていただきます。

啓林館につきましては、動画コンテンツがあるのですが、この動画コンテンツの中で、字幕のオン・オフの切替えがあったり、聴覚障害を持つまたは文字情報支援が必要な子供の学びをサポートしているというふうに考えております。

以上となります。

美濃教育長

ありがとうございました。

理科についての審議はここまでとしたいと思います。

次の種目、生活についての審議を行います。

委員の方々、ご質問ございますでしょうか。

じゃ、和田委員。

和田委員

生活という教科は、1年生、2年生対象で、特に1年生については、学習指導要領の中でスタートアップカリキュラムというか、スタートカリキュラムというのが組み入れられたと思うんですけども、そのあたり1年生が入学してすぐということで、そのあたりに工夫されているところがあれば、特徴的なところがあれば教えていただけたらと思います。お願いします。

植田主幹

スタートカリキュラムについて工夫されている教科書につきましてですけれども、どの教科書についても、上巻の一番最初の巻頭にスタートカリキュラムについて組み込まれております。幼児期に育ってほしい自分の姿というものが小学校生活でどのように生かされるか子供たちに伝わるよう、各者それぞれに工夫されております。

学校図書の上巻の最初の巻頭をご覧ください。

ちょうど2ページ、3ページになります。右上に始まるよ小学校というページが設けられております。その中でイラスト、写真、また先生の問いかけを通して自分たちで小学校の生活について話せるよう工夫されております。めくっていただくと、非常に大きく写真やイラストなどが使われていることが見ていただけるかと思います。

では、続きまして、啓林館の巻頭をご覧ください。上巻の巻頭をご覧ください。

啓林館では、学校大好き1年生のスタートブックというところがちょうどページでいいますと、このページの大きさを変えて1というふうに書いているところがあるんですが、少しページの大きさが異なりまして角が丸くなっているページがあるんです。そういう特設ページを設けています。そこで幼稚園、保育所からのこととつなげながら小学校でしたいことを考えることができる、そういった特集を組んでおります。こちらと同じく写真などをたくさん用いて、目で見て分かるような工夫がされております。

続きまして、東京書籍の上の巻頭のほうをご覧ください。

東京書籍も同じように学校生活スタートという、またページの大きさが異なる特設ページがあります。ページをめくっていただきますと、4ページ、5ページを見てください。そこには下段のイラストに先ほど申し上げた10の姿を具体化したものが示されています。また、随所に保護者の皆様へというコラムがあって、スタートカリキュラムの狙いが保護

者にも伝わるようになっております。

では、光村図書を紹介させていただきます。

光村図書の上巻、6ページをご覧ください。

見開きで大きく1年生が始まるよというこの特設のページがスタートカリキュラムに当たります。光村図書では、ヨシタケさんのイラストを使って保護者の皆様へというコラムが多数掲載されております。

このままページを進んでいただきまして、16ページ、17ページをご覧ください。

この16ページ、17ページのイラストでも子供たちに優しく伝わるようにこの10の姿が表現されています。また、保護者の皆様へのコラムの中で保護者にもその狙いが伝わるようなつくりになっております。

以上です。

美濃教育長

ありがとうございました。

ほかはいかがでしょう。

じゃ、お願いします。

新田委員

生活に関して質問したいと思います。

私は、仕事柄、SDGsについていろいろと取組をしているんですけども、特に社会科でいろんなところでSDGsというのが出てくるかなと思います。この生活に関して低学年でもこのSDGsについて教えていくということ、学習していくということが非常に重要になるかなと思うんですけども、ほかの教科書において、生活の教科書において取扱いがどんな感じになっているのか教えてください。

美濃教育長

お願いします。

植田主幹

世界中で広がりを見せているSDGsについて、各教科書どのように取り扱われているかということなんですが、まず、啓林館を紹介させていただきます。

下巻の114ページをご覧ください。

この114ページ、115ページでは、地球の未来を考えるという題名でSDGsについて特集されたページがあります。発展学習として学ぶページとなっております、さらにここのQRコードなどを読み込むと、わくわくSDGsというページに入りまして、詳しく学ぶことができるようにこういった特設のページを設けております。

続きまして、大日本図書を紹介させていただきます。

下巻の48ページをご覧ください。

48ページから見開きになるんですが、51ページを開きますとSDGsのやってみよう生活科というところで取組がたくさん紹介されています。その中で自分たちができることについて考えることができるように、具体的に写真と合わせてどのテーマに即して自分たちができることができるのかということを考えられるように工夫されております。

続きまして、光村図書についてご説明させていただきます。

上巻でこの別冊というものが後ろのほうについているんです。実はこれは切り離すことができるんですが、この中の7ページ、そこで低学年の児童でも分かるように、SDGsについて考えられる活動についてSDGsのマークをつけています。

また、同じこの別冊の19ページをご覧ください。

19ページでは、生き物を飼うところの特集があるんですが、ここでも生き物を育てるときに考えようということで、SDGsマークをつけてこの活動の紹介をしております。

以上となります。

美濃教育長

ありがとうございます。

ほかはいかがでしょうか。

じゃ、お願いします。

佐野委員

私65歳なんです。小学校の頃、50年前ですよ。もうその頃から松原市は人権教育というのをしっかりやってはるんですよ。その人権教育に特に配慮されているという教科書はありましたか。

美濃教育長

お願いします。

植田主幹

松原市が大事にしている人権教育ということについて、その中での人権の取扱いということについて紹介をさせていただこうと思います。

教育出版の下巻の66ページ、67ページをご覧ください。

この66ページ、67ページは、たくさんの人が集まって交流をしている場面になるんですが、このイラストにも様々な国にルーツのある子供が活動している様子が掲載されています。このページに限らずなんですが、上下巻通してたくさんこういう場面が掲載されておって、多文化共生の意識が高いというふうには言えると思います。

また、そのままページを進めていただきまして、72ページ、73ページをご覧ください。

ここでも障害のある方、また高齢者の方など、多様な人との出会いが意識されており、性別にも偏りが無いよう配慮されているというふうに考えております。

続きまして、学校図書の下巻、14ページ、15ページをご覧ください。

この14ページ、15ページは、まち探検で行った最後のまとめのほうのページになるんですけども、このまちの工夫を見つける視点の中で、様々な立場の人が安心して過ごせるものを紹介していると。その中で特に看板などから様々な方がこのまちの中で暮らせるようにという、そういう工夫をつけるようなことが配慮されていると考えております。

続きまして、大日本図書の下巻の巻末をご覧ください。

大日本図書の巻末では、124ページ、125ページになるんですが、世界の挨拶、また食べ物、多言語表記の案内板などが紹介されています。多文化理解を促すものというふうになっていると考えております。

最後に、光村図書を紹介させていただきます。

光村図書では、先ほど紹介させてもらったヨシタケさんのコラムというものがたくさん掲載されております。その中でもこのコラムを通して子供たちが安心して学べるメッセージがあふれているので、幾つか紹介させていただきたいと思っております。

下巻の51ページをご覧ください。

下巻の51ページの右のほうに、こんなのもいいかもよというようなコラムがありまして、ちょうど様々な子供たちが本当にそれぞれの思いで活動をしている様子がコラムとして紹介されております。

また、そのまま1ページめくっていただきまして、53ページをご覧ください。

ここでも、こんなのもいいかもよということで、様々な形のおもちゃが紹介されているんですが、どれもどのおもちゃもあってもいいんだというふうに、失敗してもいいんだとか、人と違っていいんだよ、子供たちはそれぞれ自分らしく活動して学んでいったらいいんだと、そういうメッセージが非常に伝わってくるような内容となっております。そんな学びの中で子供たちが互いに尊重する心が育っていくというふうに考えております。

以上となります。

ありがとうございました。

事務局

生活の審議はここまでといたしたいと思います。

これで算数、理科、生活の審議が終わりましたので、採択に関して投票を行いたいと思います。

先ほどと同様、投票の進行については、事務局のほうでお願いします。

それでは、投票を行いますので、会場の閉鎖をお願いいたします。

(会場閉鎖)

それでは、投票用紙の配付をお願いいたします。

(投票用紙配付)

お手元の投票用紙に1つだけ丸のご記入をお願いいたします。

ご記入いただけましたでしょうか。

それでは、先ほどと同様に、投票の前に投票箱の空虚確認をお願いしたいと思います。

ご確認いただけましたでしょうか。

それでは、投票箱の施錠をお願いいたします。

事務局が投票箱を持ってまいりますので、投票をお願いいたします。

(投票用紙回収)

それでは、開票と集計のほうをさせていただきますので、少々お待ちください。

(開票)

美濃教育長

投票の結果を発表いたします。

算数については、3票で学校図書、理科については、4票で啓林館、生活については、3票で光村図書、以上でございます。

最初にご説明したとおり、まずここで15分程度の休憩を取りたいと思います。

今あの時計でちょうど3時ぐらいなので、あの時計で3時15分から再開をしたいと思います。

じゃ、休憩いたします。

(休憩)

時間になりましたので、再開したいと思います。

ここからは、音楽、図画工作、家庭の順で質疑、審議をまず進めていきたいと思います。

音楽に関しまして、ご質問等ある方いらっしゃいますでしょうか。

お願いします。

田中委員	<p>これまで、伝統や海外に意識を持つことが求められていると思うんですけれども、その傾向がより強くなっていくと、これから思うんですけれども、我が国や諸外国の音楽や文化を大切にして、豊かな心を育てる学習活動という視点、こういった視点から特徴的な教科書というのはございますか。</p>
美濃教育長	<p>お願いします。</p>
矢野学校教育 部次長	<p>音楽、2者になるんですが、どちらの教科書でも取り扱っております。教育出版社になりますが、日本の伝統音楽と世界の音楽についての学習を設定しております。</p> <p>例えば、教育出版で4年生の教科書をご覧ください。40ページ。そこから5ページにわたります、日本の民謡や日本各地のお祭りやおやほしについての紹介がされております。実際に、おはやしづくりにチャレンジする学習もございます。</p> <p>そして、その後半46ページでは、世界の音楽の学習が位置づけられております。</p> <p>その後、47、48ページではサンバのリズムの学習も載っております。実際にサンバのリズムを演奏することで、日本のおはやしのリズムと世界のサンバをはじめとした音楽のリズムの違いを体感的に感じ取ることができるような学習設定となっております。</p> <p>もう一者、教育芸術社6年生の教科書をご覧ください。46ページです。日本に古くから伝わる音楽を親しみましようで、日本の古来から伝わる旋律に触れる学習がございます。そこは越天楽を取り扱っておりますが、1ページめくっていただいて、48、49ページで世界の国々の音楽に触れ、親しみましようという形で、旋律や感じ方の違いを確認し、豊かさへつなげられるような工夫がなされております。</p> <p>以上です。</p>
美濃教育長	<p>ありがとうございます。</p> <p>ほかはいかがでしょうか。</p> <p>和田委員。</p>
和田委員	<p>新しい学習指導要領ということの中で、この音楽を生活の中、社会の中との関連で考えようとか、もしくは、そういう資質能力を身につけると掲げてあるんですけれども、そのあたりを意識されている、2者しか</p>

ないんですけど、ところがあったら教えてください。

矢野学校教育
部次長

どちらの教科書にも、生活や社会の中の音や音楽の関わりについてはコラムとして掲載がされております。

まず教育芸術社6年生の教科書をご覧ください。43ページ。

音の持っている力や役割という特集のコラムがあり、音楽は音楽そのものを楽しむということだけではなくて、いろいろな力を持っているんだということで、生活や社会の中で様々な役割を果たしていることなどが紹介されております。

子供たちは、音楽が人々の心のかてとなっていることをこのコラムで知るとともに、自分たちにとっての音楽はどんな存在なのか、本当に自分たちの気持ちをやっぱり沸き上がらせてくれるような、そんな音楽の存在、そういう存在を考えさせる問いかけがございます。

続いて、教育出版社の今度も6年生の教科書をご覧ください。46ページです。

心と心をつなぐ音楽ということで、誰もが楽しみ、共有する喜びについてのコラムが掲載されております。離れていても心を合わせることができることや、知らない人とも共に楽しむ空間をつくり出すことができる、音楽ってそういうすばらしいところがあるということが紹介されております。音楽が人々の生活の中で心をつないでいるということをこのコラムで学んでおります。

以上です。

美濃教育長

ありがとうございます。

ほかはいかがでしょうか。

佐野委員。

佐野委員

楽器の演奏が得意なお子様以外の苦手なお子様がいると思うんですね。やっぱりつまづく子供たちへの手だてとして工夫されている特徴的な教科書はありますか。

矢野学校教育
部次長

たくさんの楽器、この音楽ではさわるんですけども、特に1年生の鍵盤ハーモニカについてちょっと紹介したいと思います。

どちらの教科書も丁寧な写真と丁寧な説明がなされているんですけども、まず教育出版社、分かりやすいかと思います。教育出版社の1年生の教科書をご覧ください。34ページです。

実物大の鍵盤ハーモニカの写真を掲載しております。子供たち、ドレミファソラシドの音階が、どこを押さえたらどんな音が鳴るのかということが大変最初は迷うんですけども、ドの音の押さえる場所を分かりやすく表示しております。鍵盤の部分は、階名だけ表示して、視線があちこちに目移りしないように、余計なものは描かずシンプルにつくっております。タンギングにつきましては、平仮名で息を吹き込んだり止めたりするように、分かりやすく指示をされております。

3年生以上が学習するリコーダーについてもお話を少しさせていただきます。どちらの教科書も、なじみのある曲を聞かせて、興味や意欲を持たせてから学習が始まっていくんですが、姿勢、息遣い、息の吹き方など、丁寧な説明がどちらもなされておまして、リコーダーでは一番優しい指遣いのシの音から始めることで、つまずきを減らす努力がどちらもされております。

教育出版社の教科書3年生をご覧ください。21ページ。

息の量をしゃぼん玉をつくる時のようにとイメージを捉えやすいように説明がなされております。一番優しい指遣いのシの音の練習でも、たくさん吹くのではなく、長く吹く、短く吹くとシンプルなものとなっており、焦らず、ゆっくり音出しの練習が子供たちができるように工夫されております。友達と一緒に楽しみながら、友達の出す音をしっかりと聞いてまねることや、演奏する部分を色分けして、友達と楽しみながら練習できる工夫もなされております。

以上です。

美濃教育長

ありがとうございました。

それでは、音楽の審議はここまでとしたいと思います。

次の種目、図画工作についての審議を行います。

委員の皆様、ご質問ございますでしょうか。

新田委員。

新田委員

すみません、図画工作に関して、先ほども生活の単元で少し同じような趣旨の質問をいたしましたけれども、特に図画工作だと、いわゆるティッシュの空き箱だったりとか、そういった廃材を活用して様々な活動をするというのは、いわゆるアップサイクルというようなSDGsの観点というのにもつながってくる単元かなというふうに考えています。これから先、そのSDGsで非常に注目されているものになりますので、この図画工作という単元の中で、SDGsについてどのような扱いがされて

いるかというところをちょっと教えていただけたらと思います。

小山主幹

SDGsについては、もちろん、どちらの教科書もよく取扱いを行っておりますが、特に日本文教出版のほうに豊かな内容がありますので、ご説明をさせていただきたいと思います。

根拠としては、図工が持つ役割について考えるために、生活の中の造形物や美術館、地域とのつながり、環境、SDGsなどに触れ、図工の社会への広がりについて考える発展的な学習が取り入れられています。

3、4年生下の32ページをご覧ください。

社会における様々な廃材の活用例に触れています。図工との関わりを学習するという、SDGsを通して学習するという教材になっています。さらに、各教材の右下にある片づけの項目、何枚かめくっていただきますと、片づけという項目があります。その項目には、余った材料は使えるものと使えないものに分けるような示唆があり、リユースの考えにも常に意識したつくりとなっています。

以上です。

美濃教育長

ありがとうございます。

ほかはいかがでしょうか。

和田委員。

和田委員

先ほどの音楽もそうなのですが、評価ということ考えたときに、非常に難しいところがあるんですが、今、最近の指導要領では指導と評価の一体化ということで、指導することと評価にちゃんとリンクさせましょうということになっていると思うんですけども、そのあたりで、やはり工夫というか、一定先生方も見て分かりやすいというような、そういう工夫をされている教科書があったら教えてください。お願いします。

美濃教育長

お願いします。

小山主幹

ありがとうございます。指導と評価の一体化についてということで、各者、見開きの左側の学習の目当てというところに工夫がありますので見ていただきたいと思います。

開隆堂、どの教科書でも結構です。各教材の見開きを開いていただいて、学習の目当てのところを見てください。

学習の目当てには、育つ3つの力をキャラクターで表されています。

青色は知識、技能について、黄色は思考、判断、表現力につながる発

想や構想、観賞について、赤色は、学びに向かう力、人間性の蓄養についてということが示されています。

目当ては、具体的ではっきりとしているため、どの資質能力を育てるのがよく分かりやすく、それが評価基準とすることができるので、経験の浅い先生でも、授業が組み立てやすくなっております。

出吹き出しの言葉や、右下の振り返りから、その活動での学びを確認することができるようになっていきます。

続きまして、日本文教出版、同じようにどの教材でも結構です。

見開きの左側、題材のタイトルの下に導入の言葉があります。見開きの左側の題材のタイトルの下に導入の言葉があり、その下の四角で囲まれたものが学習の目当てになっています。手のマークは知識、技能について、電球のマークは思考、判断、表現力などにつながる発想や構想、鑑賞について、緑の顔のマークは学びに向かう力、人間性などについて書かれています。3単元5項目に細分化し、マークは育てたい力がより明確に分かりやすく示されています。この目当ての5項目がそのまま評価基準の観点となり、指導と評価がつながる活動になるような設定がされております。

以上でございます。

美濃教育長

ありがとうございます。

ほかはいかがでしょうか。

お願いします。

田中委員

主体的、対話的で深い学び、こういったものの実現に向けた授業改善というのは本当に日々、年々、されていると思うんですけども、そういった意味合いで、こういった主体的な、対話的な深い学びを実現するために、各教科書の特徴的なものというのはございますか。

小山主幹

それぞれ教科書のよさがありますので、各者の同じような題材のページを見比べていただきたいと思います。

まず開隆堂、3、4年生の上、42ページ、43ページをご覧ください。

あわせまして、日本文教出版のほうが同じく3、4年生の上、22ページ、23ページを見て比較していただけると、開隆堂のトントンくぎうち、コンコンビー玉のこの題材では、写真からも分かるように、何人かの児童が共同で作品をつくる内容になっています。それぞれの発想や考えを伝え、友達と話し合いながら、工夫して一つのコースをつくり、くぎ打

ちを楽しむことを目当ての中でも重要事項としています。右下の振り返りにもあるように、コミュニケーションや言語活動が活発になるような工夫をされています。

続きまして、日本文教出版のトントンドンどんくぎうってでは、自分で好きな木の形を選び、くぎの高さや角度、数など、打ち方を工夫することでどのような形になるのかを楽しむ題材となっています。吹き出しには、上がったり下がったりするように打ったよ、横から見ると森みたに見えたよと、活動のヒントが書かれています。右下の写真にあるように、制作過程や制作後に作品に込めた思いを友達に説明をしたり、それを聞いて面白さに気づいたりする対話が生まれています。自分一人で作った作品だからこそ、その思いを伝えることができ、言語活動につながるよう工夫をされています。

以上でございます。

美濃教育長

ありがとうございました。

それでは、図画工作の審議はここまでとしたいと思います。

次の種目、家庭についての審議を行いたいと思います。

委員の皆様、ご質問、佐野委員、お願いします。

佐野委員

家庭なんです、家庭科の学習で学んだことが実際の生活で本当に反映されているのかどうかというのはなかなか分かりにくいし、それを自分なりに、生活に反映していくということが大事だと思うので、その観点において、教科書ではどんなような工夫をされているのか、教えていただけますか。

美濃教育長

お願いします。

三浦主幹

家庭科の学習では、おっしゃられたとおり、学んだことを実際の生活につなげて考え、生かせる力をつけていくことが大事だと考えております。

東京書籍、34ページをご覧ください。

各題材のスリーステップ目が生活に生かそう、新しい課題を見つけようという内容になっております。また、このページの左上にあるように、日々の備えというコーナーでは、防災という観点でも日頃から生活の中で意識しておくべき大切なことが示されています。

次に、66ページをご覧ください。

生活を変えるチャンスというコーナーが特設されております。このコーナーでは、学んだことを基にして、家族のために役立つ実践について計画を立て、実践後に分かったことをまとめ、発表し、最後に改善点を考える活動までの5つのステップが見開きのページで紹介されています。

続いて、開隆堂です。47ページをご覧ください。

こちらの開隆堂につきましても、各題材ごとスリーステップ目が生かす、深めるというふうになっており、ページ下部の生活に生かそうの部分には、これからの生活に生かしたいことを直接書き込めるようになっております。また、同教科書80ページから84ページには、生活の課題と実践例について、それぞれ5つのステップを1ページに整理して、4つ紹介されています。

次に、144ページ、145ページをご覧ください。

家庭や地域の安全、防災のコーナーが特設されております。ここでは、家族の一員としてではなく、地域の中で自分でできることを意識させ、地域社会で共生するために生かすことのできる内容について考えることができるように工夫がされております。

以上です。

美濃教育長

ありがとうございます。

ほかはいかがでしょうか。

新田委員。

新田委員

特にこれからの社会というのは、様々な、多様な生活スタイルというか、考えられると思います。なので、今までの親の世代とは違って、この新しい生活スタイルが、多様なスタイルがある、この子供たちが社会に出ていくということを学ぶ中で、例えばその持続可能性というような部分、環境配慮の部分、それ以外にも例えばアジェンダ平等とか人権、こういったようなSDGsとも関連するような考え方、このあたりというのが家庭科の中で反映されている部分とか、工夫されている部分というのはありますでしょうか。

三浦主幹

ありがとうございます。

子供たち一人一人が自分のよさや可能性を認識して、多様な人々と協働しながら社会をつくる担い手となっていく、そのような意識が育つように、教科書においても各会社、工夫されております。

まず東京書籍、128ページをご覧ください。

このページの上半分になるんですけども、まちの中を描いたイラストがございます。その中には、ベビーカーを押す人や車椅子を使っている人、ジョギングをされる高齢の方など、性別、年代、国籍の違う様々な人たちが描かれており、自分たちがそれらの人々と社会の中で共生していることを意識できるような工夫がされております。

また、43ページをご覧ください。

このページには、SDGs という観点で世界の多様な人々が共生する社会をつくるための課題について考えさせるような設定がされております。

続いて、開隆堂をご覧ください。

表紙をめくった見開き1ページ、2ページをご覧ください。

このページには、2年間の学びの見通しを持たせるページとなっております。イラストや写真には、多様な人々が登場しており、それらの人々と共生する生活について学ぶ教科であることがイメージできると思います。2ページ右下には、SDGs という観点での生活を振り返ることが示されております。

続いて31ページをご覧ください。

左側中央のイラストをご覧ください。中央の子供たち、子供が2人写っていると思うんですけども、ヒジャブという布で頭や体を覆う女の子の様子が描かれており、自分たちが世界中の多様な人々と共生していることを感じさせる工夫がなされています。

以上です。

美濃教育長

ありがとうございました。

ほか、いかがでしょうか。

お願いします。

田中委員

個別な学びと協働的な学び、これ一方に偏るといけない、当然なんですけれども、これを一体的に充実させるということが今後さらに強く求められておると思うんですけども、そういった観点から各教科書、どんな工夫がなされているか、ちょっと教えていただきたいんですが。

三浦主幹

ありがとうございます。

もちろん各教科書会社とも工夫されているんですけども、特徴的なことをご報告させていただきます。

東京書籍から最初にご説明させていただきます。

83ページをご覧ください。

ページの右上にQRコードがついております。見開きごとのQRコードをスキャンすると、学習に役立つ動画や資料を見ることができるようになっております。このページのQRコードを個々のタブレットでスキャンすると、ワークシートがダウンロードできるようになっております。このページに設定している活動3では、個々に学んだことを生かして、自分の考えをタブレットにまとめ、まとめたデータをグループや全体で共有しながら、話し合いを深める活動へとつなげる工夫がされております。続きまして、開隆堂になります。

33ページをご覧ください。

この題材のスリーステップ目の活動内容は、マイプランに挑戦、自分で計画を立てるということになっているんですけども、学んできたことを生かして課題を設定し、解決方法について個々のプランを作成したり話し合ったりするような流れとなっております。教科書の見開きごとにあるQRコードをスキャンすると、実習に役立つ動画を見ることができますが、このページのQRコードをスキャンすると、プラン作成に役立つ資料やワークシートがダウンロードできるようになっている工夫があります。

以上になります。

美濃教育長

ありがとうございました。

それでは、家庭の審議はここまでとしたいと思います。

これで、音楽、図画工作、家庭のそれぞれの審議が終わりましたので、採択の投票を行いたいと思います。

進行について、事務局、お願いします。

事務局

それでは、投票を行いますので会場の閉鎖をお願いいたします。

(会場閉鎖)

では、投票用紙の配付をお願いします。

(投票用紙配付)

では、先ほどと同様に投票用紙に丸を一つだけお願いいたします。よろしいでしょうか。

それでは、投票の前に投票箱の空虚確認をしていただきたいと思います。お願いします。

ご確認いただけましたでしょうか。

それでは、投票箱の施錠をさせていただきます。

それでは、事務局のほうで投票箱を持ってまいりますので、投票をよろしく願いいたします。

(投票用紙回収)

開票を行いますので、少々お待ちください。

(開票)

美濃教育長

投票の結果を発表いたします。

音楽は5票で教育出版、図画工作4票で日本文教出版、家庭が4票で開隆堂をそれぞれ採択することといたします。

事務局

それでは、会場の閉鎖を解いてください。お願いいたします。

(会場開鎖)

それでは、4ターン目、よろしく願いいたします。

美濃教育長

それでは、保健、英語、道徳の順で質疑、審議を始めていきたいと思
います。

まず、委員の皆様、保健に関してご質問ある方、いらっしゃいますか。

田中委員、お願いいたします。

田中委員

これは保健に限らず、各科目共通しているんですけども、G I G A
スクール構想の実現に伴いまして1人1台の端末が配備されまして、教
育のI C T化が進んでおります。

こういった観点に関する取組について、どのような工夫がされている
かというのをちょっとお聞きしたいんですが。

美濃教育長

お願いします。

三浦主幹

各者とも、学びを広げたり深めたりするために有効な動画やデジタル
教材が用意されております。

学習に活用しやすいように適所に掲載されておるのですが、1人1台
端末の環境下で児童たちの学習をサポートできるように各者配慮されて
おります。

その中でも特徴的な2者についてご紹介いたします。

まずは光文書院の教科書、3年生、4年生をご覧ください。

16ページになります。

導入の部分にQRコードが必ず記載されております。授業を組み立て
ていく上で、最初から最後までタブレットを使用することができ、端末
が活用しやすい内容となっております。

続きまして、大修館書店、3、4年生です。

27ページをご覧ください。

各者ともこのQRコードで動画やウェブサイトの閲覧、あとワークシートの活用というものがあるんですけども、大修館書店では、シミュレーション教材として、自分の身長の数値をタブレットに入力し、その結果、グラフを作成してくれるようなコンテンツが用意されている、このような特徴があります。

以上です。

美濃教育長

ありがとうございました。

ほかはいかがでしょうか。

新田委員、お願いします。

新田委員

ちょっとまた家庭科のところでも同じような形でお伺いしたんですけども、今、多様な生き方が考えられる中で、例えばいわゆるジェンダーの問題だったりとか、それから、いわゆる性自認の問題とか、あと健康に関する話でいっても、いわゆるメンタルヘルスの問題だったりとか、そのあたりの現代社会の抱えているような新しい課題について、何らか教科書で特徴的に扱っているような部分というのはありますでしょうか。

三浦主幹

ありがとうございます。

各者とも、急速に変化する現代社会の中で健康課題として浮上しているテーマなどを数多く取り上げていることはもちろんなんですけども、社会全体に学びを広げ、深めることができるように配慮がなされています。

特徴的な2者についてご紹介いたします。

1者目は大日本図書の3年生、4年生でご紹介いたします。

38、39ページになります。

38ページには、国際理解を深める内容として、成長を祝う行事を紹介し、外国の文化についても触れ、興味関心が持てるように配慮されています。続きまして、隣の39ページには様々な性という記述があり、多様性を尊重する工夫がなされています。

続いて、文教社です。

教科書3年生、4年生です。

31ページをご覧ください。ここでは、もっと考えようかで今と昔を比べることで個性を大事にする社会に少しずつ変わってきたということ、

変遷を紹介してあります。また、関連して右上に書いてあるのですが、SDGsの視点を取り扱っていることも特徴的な内容となっております。以上です。

美濃教育長

ありがとうございます。
ほかはいかがでしょうか。
和田委員、お願いします。

和田委員

今、支援学級という特別な配慮を要する子供たちが増えていると思うんですけども、そのあたりも、もっと早く質問すべきだったのかもしれませんが、この保健の中でそういった支援、配慮を要する子供たちの観点で工夫されているような教科書があったら教えてください。

美濃教育長

お願いします。

三浦主幹

ありがとうございます。

どの教科書とも、ユニバーサルデザインの視点から配色やレイアウトには工夫がされており、誰もが見やすく分かりやすい内容になるように、配慮されております。弱視者の拡大教科書も発行されており、その中でも特徴的な2者について今回は紹介させていただきます。

まず東京書籍の3、4年生になります。

11ページをご覧ください。

右側には独自のキャラクター、コールとクールというのが登場します。教師の発問の補助的な役割を担っています。問いが視覚化されているため、聞き漏らしや聞き違いなどを防ぐこと、こういう役割をしております。また、教科書全体に文節の切れ目で改行されており、文書読解でつまづく児童への配慮がなされていることも特徴となっております。

続きまして、学研になります。

5、6年生の36ページ、37ページ、学研です。

36ページ、37ページをご覧ください。

このページでは、学校や地域でけがを防ぐ工夫や努力について、具体的なことが写真と共に紹介されております。学習に係るトピックや発展的な内容について、写真やイラスト等を多く活用し説明されており、児童の成長段階に応じた内容となっております。

また、消しゴムで強く消しても破れにくい素材の紙を使用していたり、教科書に使用している色が、誰もが見やすい淡い色使いをされていることも特徴となっております。

以上です。

美濃教育長

ありがとうございました。
それでは、保健の審議はここまでとしたいと思います。
次の種目、英語についての審議を始めます。
皆さん、英語に関してご質問ございますでしょうか。
新田委員。

新田委員

英語が特にGIGAスクールの端末で、いわゆる家庭学習をされる際に、発音のことであったりとか、それからリスニングというようなところで、端末とのデジタルコンテンツとの親和性の高い教科ではないかなというふうに感じるんですけど、そのあたり、どのような配慮が、何か特徴的なものがあるかどうか教えていただけたらと思います。

松本課長補佐

各教科書ともQRコードコンテンツにつきましては増加をしております。どの教科書会社もただ再生するというだけではなくて、スピードを変えられることができたりとか、字幕を付けたり消したりすることができたりということができるようになっております。授業だけではなくて、気軽に自学自習ができるように工夫はされております。

その中でも特徴的な教科書、まず三省堂をご覧ください。

5年生の11ページ、ご覧ください。

右上のほうに、ホップ1、ステップ、ステップ、レッスン2、ジャンプというふうに、右上のほうに記載をされております。このユニット、自己紹介をしようというユニットになりますけれども、学期を通して、ホップステップジャンプという長期間を見越した流れで実現ができるようにしております。このホップ1のハローという11ページに、1、2、3、3つの写真が、児童の写真が載っておると思うんですけども、その上にQRコードコンテンツがついております。このQRコードを読み取りますと、この単元のゴールとなる自己紹介を子供が実際にしている動画を見ることができます。児童がこの単元ユニットのゴールのイメージをまず見ることができる、実際に見て、こういうことができるようになるばいいんだということが分かった上で、学習に入っていきように工夫がされております。

また、ページをめくっていただくと、15ページをご覧ください。

レッツプレイ、レッツトークということで、活動が示されておりました。

て、ページの右上にQRコードがついております。ここでは、自分のペースで動画や音声を見返しながら取り組むことができるようになっております。また、活動の仕方を日本語で示したものもQRコードの中から見ることができるようになっており、スムーズに活動ができるように工夫がされております。

続いて、光村図書6年生の82ページをご覧ください。

こちらはAとB、2つの写真が掲載されておまして、この2つの2人の動画、スピーチをしている動画を聞き比べるというコンテンツが掲載されております。どちらのスピーチがよかったのかを自分なりの意見を持って、またその後、友達と交流をすることができるようにというところで工夫がされております。

以上です。

美濃教育長

ありがとうございます。

ほかはいかがでしょう。

田中委員。

田中委員

英語では、聞くこと、読むこと、話すこと、書くこと、この4技能がバランスよく育成するということが求められると思うんですけども、この4技能の内容が子供たちに分かりやすく示されている教科書というのはあるのでしょうか。

一方、目先を変えますと、先生方の運営というんですかね、観点からすると、英語が専科でない教員への配慮、こういった意味も踏まえて、何か特徴的な教科書というのがございますか。

松本課長補佐

ありがとうございます。

各者ともその4技能のバランスにつきましては、バランスよく育成するように工夫がされております。その中で2者紹介させていただきたいと思えます。

まず教育出版、5年生の63ページをご覧ください。

一番上のほうに、鉛筆を持ったキャラクターがこの単元のゴールを示してくれております。海外の友達と一緒に行ってみたい都道府県を伝えようというふうにされております。このゴールを明確に示すことによって、この後の活動に取り組みやすい、先ほどご質問の中にもありましたように専科でない教員にとっても何を教えればいいのか、何ができるようになればいいのかということが明確に示されているようになっており

ます。

次のページ、めくっていただきますと、レッツリスンということで聞くことになっております。さらにめくっていただきまして66ページ、その次のページ、見開きになっておりますけれども、地図や表現を見ながら読むことに触れることができるようになっております。

ちょっと飛ばしていただきまして72ページにいきますと、レッツライトということで書くことの課題が示されております。73ページのファイナルアクティビティーの中で話すことというふうに、単元の中で4つの技能がバランスよく配列されるようになっております。

続いて啓林館、ご覧ください。6年生の82ページです。

ここは将来の夢を伝えることができるようになるろうというゴールが示された単元です。ここも先ほどと同じように、ゴールが明確に示されております。84ページめくっていただきますとリスンアンドドゥということで聞くこと、85ページには書くこと、アクティビティーが示されております。ウォッチアンドドゥというのがその次のページにありまして、そこでは、読むことができるようになっておりまして、89ページを見ていただきますと、アクティビティーということで話すことと書くことが一体的にできるようにというふうな工夫がなされております。

以上です。

美濃教育長

ありがとうございました。

ほかはいかがでしょうか。

和田委員、お願いします。

和田委員

今の田中委員の質問の関連で、4技能の中で、特に小学校は聞く、話すを重視するとなっていると思うんです。実際の場面でいうと結局は、人とやり取りするということになると思うんですよね。だから、そういう場面をやっぱり想定しているというか、そういう教科書というのはあるんですかね。そういう特徴があったら教えてください。

松本課長補佐

ありがとうございます。

今、ご質問いただいたように、目的、場面、状況、この3つを工夫しながら子供たちが実際に使える英語力を育てていくということが大事にされております。どの教科書会社でも工夫はされておるんですけれども、特徴的なもの2者について、お示しさせていただきたいと思います。

東京書籍、5年生の50ページをご覧ください。

道案内ということで、ゴールが示されております。場所を尋ねたり、案内したりしようというテーマが示されておりました、この一番上に、左側に大きな目標が示されていますけれども、その右側、線がトーナメント表のようにつながっております、51ページの一番上に3つのサブテーマで示されております。それぞれ場面や目的を示しながら、この後の単元でこういうことを勉強していくよということが示されていて、最初からどんなことをするのかということが分かりやすく説明されております。最終は、自分たちで誰誰をどここの場所まで案内しようということで、自分なりに英語を使って話すことに取り組んでいくという内容が示されておりました、日常の生活でも生かせるような形で工夫がなされております。

続きまして開隆堂です。

同じく5年生、51ページをご覧ください。

ここは自分のできること、できないことについて工夫して発表することができるということで、Canを使うことができるというところになりまして、ここで、自己紹介をする中でCanを自然に使っていくということで、工夫がなされております。ずっとページをめくっていただきますと、57ページ、アクティビティー3ということで、自分なりに端末を使いながらプレゼンを使って発表をしていく、この中でCanやCan等、自然に使いこなしていくという形で目的が示され、必要な言語を使いこなしていくことができるように工夫がなされております。

以上です。

美濃教育長

ありがとうございました。

それでは、英語の審議はここまでとしたいと思います。

次の種目、これが最後になりますね。道徳についての審議を行いたいと思います。

委員の方、道徳に関してご質問ある方。

佐野委員。

佐野委員

いじめというのは、人間社会全体にできている問題で、そのことに関して重点的に取り扱っているという教科書、あれば教えてほしいです。

奥長主幹

今、ご質問いただきましたいじめ問題、命の問題につきましては、各者とも非常に工夫を凝らした取扱いとなっております。

まず、東京書籍につきましてご説明いたします。

4年生の38ページをご覧ください。

いじめについての傍観者の主人公の気持ちを考える学習を通して善悪の判断について学ぶ教材となっております。その次のページでは、いろいろな立場の子供たちを考えることを通して、いじめにノーの空気をつくることについて学べるよう解説がされています。

次の教材をご覧ください。ページをめくっていただきまして、次は、隣の席という教材です。席替えの出来事から、公正公平、社会正義について考えられるよう扱われています。

東京書籍では、いじめの直接的教材から間接的教材のいじめ単元として扱い、いじめをしない・させない心を育むよう、繰り返し様々な内容項目を学習するよう充実させています。

続きまして、日本文教出版、5年生の72ページをご覧ください。

こちら単元形式で扱われております。

5年生の林間は、滋賀県では船に1泊します。その中で班のみんなが気持ちよく過ごせるように考える教材となっております。集団生活の充実について考えることを通して、いじめを許さない心を育てるためのいじめを間接的に扱った学習となっております。

ページをめくっていただきまして、名前のない手紙は、仲間外れにされた主人公に手紙が届き、周りの友達も変化して、仲よしに戻るといいう、いじめを直接的に扱った教材となっております。

続きまして、80ページをご覧ください。

心のベンチでは、学年ごと、発達段階に合わせて、1年、仲直り、2年、ふわふわ言葉、3年、心の声に耳を傾けて、4年、なくそういじめ、6年、いじめと法律とし、5年では、教材の後にこのいじめは止められるを扱い、さらにいじめについて大切なことを考えられることができるよう扱われております。このように、いじめをしない・させない、見過ごさない、いじめ防止3件を全学年で扱っております。

光村図書をご準備ください。光村図書3年生、18ページです。

光村図書では、いじめについてじっくり考えることができるよう、複数時間かけて考えられる単元構成となっております。1、2年生は、新しい学校やクラスでの生活に慣れてくる9月、10月に、3年生から6年生はクラス内の人間関係がつくられていく5月、6月に、いじめを許さない心という単元が設けられています。

3年生の18ページ、日曜日の公園で、その次の教材、道夫とぼくの2つの教材と、そのあとに続きます友達との関わり方について考えようの

コラムページから、単元が構成されております。教材で学んだ後に、コラムでその学びを深めることができるようになっております。

1時間の授業で終わるのではなくて、複数時間をかけて、いじめについて考えることができるような工夫がなされており、様々な観点からいじめと向き合えるよう、個性伸長や生命の尊さなどの教材からも、いじめを許さない心を1年間かけて育ていけるようになっております。また、いじめ問題に向き合いながら、友達との関係づくりにつなげられるような工夫がされております。

以上です。

美濃教育長

ありがとうございました。

ほかはいかがでしょうか。

和田委員。

和田委員

今、教科書を見ながら思っていたんですけど、各この中に30の項目が入っていますよね。ということは、1つの単元というか教材については1時間、つまり45分でやるということですよ。となるとこれ、文章をずっと読んでいるだけ、文章解釈じゃないので、それをやっていると物すごく時間かかると思うんですけどね。でも一方で道徳というのは、考えるということとか議論をするとか、そういったことが重視されているんですね、特に思考力、判断力、表現力やし対話的な学びやし、だから、そういう一つの単元なんだけど、それを考えるとか議論するとか、そういうのをちょっと工夫されているなというのがあったら、ちょっと教えてもらえますか。

奥長主幹

どちらの教科書会社さんも、考える活動、話し合う活動というのを教材の中、また、後に取り入れて主体的で対話的で深い学びにつながるような工夫がされております。

中でも特徴的なものを紹介いたします。

まず、教育出版6年生の4ページをご覧ください。

学習の手引きとして、児童の思考を促す考えよう、児童の思考の深化を促す深めよう、問題解決的な学習に活用できる問題を解決しようなどの発問が設定されております。考えを深めながら、話し合えるような構成となっております。

同じく6年生の66ページをご覧ください。

自然環境の単元では、被災後の海の復興、プラスチックごみの問題の

2つの読み物教材から自然環境に関わる課題を理解し、ごみ問題について考えられるようになっております。学年ごとに単元のテーマが設定され、多様な考えを引き出す教材の工夫がなされています。

続きまして、光文書院4年生の6ページをご覧ください。

全学年において、初めに自分の考えについて気持ちを考える、順に考える、分けて考える、比べて考えるなど、考えを深めるための様々な方法を学年の発達段階に合わせて掲載しております。これは児童にも、教える側にとっても、効果的に使えるものだと感じております。

読み物教材では、主人公の気持ちの変化を順に考えて書いたり、それぞれの立場で多面的に分けて考えたりするなど、効果的に使える内容となっております。また、次の話し合って考えてみようでは、話合いのよさや、対話ツールを使うことでより考えを深められるよう、また話合いで返す言葉の例が学年に合わせて掲載をされております。

続きまして光村図書、こちらでも同様の扱いがございます。

光村図書5年生の188ページをご覧ください。

学びの道具箱というのが3年生以上に掲載をされております。自分の考えを深めたり、整理したりするための表やチャート図が掲載され、自分の考えを文章のみで羅列するのではなくて、視点ごとに考えをまとめていき、整理されるよう扱われております。

左のページは、話し合う活動するためのツールとなります。学年の段階に合わせて、カードを使った対話、ホワイトボードを使っての対話、様々な考えに触れることを目的としたシャッフル対話、インタビューした後にグループで報告し合う対話なども掲載されております。これらを効果的に活用することで、より話合いも効果的となり、価値に迫る活動がしやすくなるように工夫がなされております。

以上です。

美濃教育長

ありがとうございます。

ほか、いかがでしょう。

新田委員、お願いします。

新田委員

ほかの科目では特にタブレット端末とのデジタルコンテンツというのが結構充実しているのかなと思ったんですけども、道徳だとなかなかデジタルとの親和性というのはちょっと私ではなかなか思いつかないんですが、今この道徳を学ぶ上で、デジタルコンテンツというのはどんな形の扱いになっているのかなというのを教えていただけたらと思います。

奥長主幹

読み物教材や提示された写真を詳しくするなど、2次元コードが扱われている教科書が今回非常に増えております。道徳の教科書においても、たくさんの扱いがございます。

まず、教育出版3年生、6ページをご覧ください。

タブレットの活用を巻頭に掲載しております。道徳の学習、さらに、広がりができるよう学びリンクを紹介しております。この学びリンクでは、教材に使われている登場人物の紹介やあらすじなどが掲載されています。教材の最後のリンクはウェブサイトにつながっており、お話に出てくるものをさらに詳しく知ることができるよう工夫されています。次の左側の7ページ、タブレットを学習に生かそうも掲載され、情報機器の効果的な使い方が主体的に扱えるように工夫がされております。

続きまして、光文書院3年生、152ページをご覧ください。

2次元コードをタブレットで読み込むことにより、教材理解を進めるための動画、写真、メッセージを視聴できるようになっており、より学習効果を高められるように工夫がされております。

海を渡るランドセルの動画は、実際にランドセルが届いたアフガニスタンの子供たちのメッセージやうれしそうな表情が映し出されております。教科書の写真だけでは伝わりにくいものが、この動画によってより具体的に伝わり、心を揺るがす教材となっております。

続きまして、学研2年生の118ページをご覧ください。

学研でもデジタルコンテンツにつなげますと、写真、動画、音声、教材に関連したクイズ形式での紹介等、児童の学びの幅を広げられるよう工夫がされております。抱っこしながらという教材で、命の大切さを登場人物のいとこの赤ちゃんとの触れ合いを通して考える内容となっております。QRコードコンテンツにつなぎますと、実際の赤ちゃんの動画を視聴できるようになっており、より実感を持って学ぶことができる、そのような工夫がなされております。

以上になります。

美濃教育長

ありがとうございました。

道徳の審議につきましては、ここまでとしたいと思います。

ということで、保健、英語、道徳についての審議を終えましたので、投票に移りたいと思います。

進行を事務局のほうでお願いします。

事務局	<p>それでは、投票を行いますので会場の閉鎖をよろしく願いいたします。</p> <p>(会場閉鎖)</p> <p>それでは、投票用紙の配付をお願いいたします。</p> <p>(投票用紙配付)</p> <p>それでは、お手元の用紙に1つだけ丸をご記入をお願いします。 ご記入いただけましたでしょうか。</p> <p>それでは、投票の前に再度投票箱の空虚確認をお願いしたいと思います。 よろしく願いいたします。</p> <p>ご確認いただけましたでしょうか。 投票箱の鍵を施錠させていただきます。</p> <p>それでは、投票箱を持って回りますので、投票をよろしく願いいたします。</p> <p>(投票用紙回収)</p> <p>では、開票をさせていただきますので、しばらくお待ちください。</p> <p>(開票)</p>
美濃教育長	<p>投票の結果を発表いたします。</p> <p>保健については3票で学研、英語については3票で三省堂、道徳については4票で光村図書というふうに、それぞれ採択をしたいと思います。</p>
事務局	<p>それでは、会場の閉鎖を解いてください。お願いいたします。</p> <p>(会場開鎖)</p>
美濃教育長	<p>本日予定しておりました教科用図書の採択については終わりました。</p> <p>本日採択された教科用図書について、事務局から再度確認といたしますか発表をお願いします。</p>
事務局	<p>それでは、本日採択していただきました種目につきまして、再度ご報告させていただきます。</p> <p>まず国語ですけれども、光村図書出版株式会社様に採択されました。</p> <p>書写につきましては、教育出版株式会社様に採択されました。</p> <p>社会につきましては、日本文教出版株式会社様に採択されました。</p> <p>地図につきましては、株式会社帝国書院様に採択されました。</p> <p>算数につきましては、学校図書株式会社様になりました。</p> <p>理科につきましては、株式会社新興出版社啓林館様に採択されました。</p>

生活につきましては、光村図書出版株式会社に採択されました。
音楽につきましては、教育出版株式会社様に採択されました。
図工につきましては、日本文教出版株式会社様に採択されました。
家庭につきましては、開隆堂出版株式会社様に採択されました。
保健につきましては、株式会社学研教育みらい様に採択されました。
英語につきましては、株式会社三省堂様に採択されました。
最後になりますが、道徳につきましては、光村図書出版株式会社に採択されました。
以上となります。

美濃教育長

ありがとうございました。
ほかに事務局から補足等ございませんでしょうか。

長尾教育推進
課長

本日の採択結果については速やかに大阪府教育委員会に報告をいたします。
また、市のホームページ、広報にも掲載させていただきたいと思えます。
なお、学校教育法第34条第1項において、文部科学大臣の検定を経た教科用図書または文部科学省が著作の名義を有する教科用図書を使用しなければならないとありますが、附則第9条では、特別支援学級において、第34条第1項にかかわらず、文部科学大臣の定めるところにより、第34条第1項に規定する教科用図書以外の教科書、いわゆる一般図書を使用することができます。
今後、対象児童が把握された場合は、早急に対応いたします。よろしくお願いいたします。
以上でございます。

美濃教育長

ありがとうございます。
以上で、議案第18号「令和6年度使用松原市立義務教育諸学校教科用図書（小学校）の採択について」の審議を終わります。
指導主事の皆さんはここで退席となります。
ほかに事務局から何かございますか。よろしいですか。
皆様のご協力のおかげで、長時間にわたりましたが、円滑に審議を終えることができました。
本日は長時間ありがとうございました。
これで7月の定例教育委員会を終わります。

ありがとうございました。
(閉会宣言 午後4時25分)

署 名 教育長 美濃 亮
委 員 佐野 恭彦